

## 資 料

- 資料 1 アンケート自由記述
- 資料 2 ヒアリング調査（修了生の活躍事例）
- 資料 3 卒業生へのアフターケア
- 資料 4 予備調査表
- 資料 5 アンケート調査票
- 資料 6 ヒアリング調査票

資料 1

アンケート自由記述

## アンケート自由記述

自由記述欄への記入件数は529件で、回答者の3分の1以上の者が何らかの記述をしたことになる。記述内容を次の4つの項目に分類し、整理をした。

A：短大での教育貢献（短大校の教育が役に立っています。）

B：後輩への激励（後輩の皆さん頑張ってください。）

C：短大校への要望（短大校側でこの点を考えていただきたい。）

D：近況報告（何とかやっています。）

なお、回答者からの記述意見は、できるだけ分断することなく、生である方が良いとの判断で、明らかな誤記のみ修正し、原文のまま載せることとした。従って、分類はあくまで便宜上であることを了解願いたい。

### A：短大での教育貢献（短大校の教育が役に立っています。）

- A1 女 27才：私にとっての短大生活は、現在の仕事の中で、自分自身のステップアップをはかるうえで、とてもキーポイントとなっています。短大で特に実習で得たことが仕事に関連することが多く、今思えばもう少し気合を入れて勉強しておけばよかったと思います。
- A2 男 34才：現在職業訓練の職につき、短大時の経験を生かし、指導を行っています。自分も何も知らないで入校して現在では、入校した科と、切っても切れない関係となっています。短大時に勉強したことが非常に役立っています。また、総合大学のほうにも研修に行かせてもらい、スキルアップを行っています。以前まで短大のほうでは短期実践など印刷に関する研修が行われていたのですが、最近は無くなり非常に残念に思います。
- A3 女 26才：学校生活（友人、先生のコミュニケーション）はとても満足しました。とにかく楽しかった。しかし、授業は、週に1回1科目といった複数の科目があった為、次の週には忘れていたといった、広く浅くで、しっかり身に付いたとは言えない。実際社会に入ると、専門的知識が役に立つので、他のものを全てに発揮できない。短大のときに、もっと専門を絞って、週に数回その科目について学習したほうがよりよい人材育成になると思うし、社会としても即戦力になると思う。
- A4 女 23才：授業の内容よりも、先生の言葉や考え方をお聞きして、それが今の自分にとっても役に立っています。
- A5 男 34才：就職すると、なかなか他の部署の内容はわからないものです、私が学んだ印刷技術科は各工程を学ぶことができたので今は大変役立っています。
- A6 男 28才：私が貴校で学んだことは今も仕事の中で役に立っています。それは、基礎的な知識や実習の基本の作動を最重視してくださり教えてくださったということです。基礎が身につけている技術者は、安全で効率的な仕事を容易にこなし、組織へ貢献しているのだとつくづく感じます。座学や情報からでも知識入手も大切ですが、やはり技術や技能を取得するには、体で憶える実習や実験が必要不可欠です。ソフトばかりに偏った技術者はハードの弱点や欠陥を間接的に捉える様になり、行く末は見過ごしてしまうことと思います。今後もソフト、ハードのバランスを良く勘案した教育目標を継続願いたいと思います。貴校の益々の発展、卒業生として心から祈っております。
- A7 男 28才：現在日本の教育の中で、自分の将来の仕事を意識して勉強している学生が少なく思えます。私自身も漠然とした夢はあったものの、学生のときに見つけることはできませんでした。高校の頃はもちろんですが、短期大学の頃も目標とする仕事を見つけることも、また出会う機会も無かった様に思えます。大学を受験することで、ある種、方向性は決まっているように思われますが、その先の職場まで見えているとは思えませんし、見えていたとしても自分に合うかはまた別の話です。皆、そうやって現在の仕事についているのでしょうか、その前に貴校のような学校に入ろうとするのですから、なんか探しているはずなのです。職種がどうこう言い訳ではなく、人生に於ける仕事の位置という観点で見れるような、教育環境があれば素晴らしいのではないのでしょうか。現在私は全く違う仕事をしていますが、短大の2年間で得た人間としての充実感は現在の私を突き動かす源となっております。
- A8 男 43才：卒業して20年余り経ちました。今でも実習が多かったことを思い出します。それは自分にとっても仕事に対しても自信につながっていると思います。学科だけでなく体で覚えた実習は大切だと思います。
- A9 女 29才：普通科の高校から工業系の科に入ったため、分からないことがたくさんあり、大変でしたが先生や周りの友達などに教えてもらいながらやっと卒業できたと思っています。授業が終わった後も分からない事があったら一生懸命、遅くまで教えてくださった先生方に感謝しています。

- A10 男 47 才：技術は発展するもので、継続して学び修得する必要があります。短大での2年間は凝縮したもので、当時の最高レベルの技術を学び、現在までの仕事の強固な基礎になっています。
- A11 男 24 才：生産技術科として機械加工を主に学習しましたが、現在の職務としては電気の知識、能力が要求されます。しかしながら卒業研究として取り組んだ相撲のロボットの製作はその総てが現在に生かされているように感じます。企画・アイデアから製作、プログラム、設計にいたるまでそして大会に出ることで発表だけにとどまらず結果を感動として得ることができました。1つの成果を外の世界との接触の中で示し感じ取れる事はとても刺激になったように思います。
- A12 男 27 才：短大の先生方が人格者で、今でもさまざまなアドバイスをいただいて感謝しています。
- A13 女 25 才：私が卒業した産業デザイン科は諸事情によって昨年残念ながら廃止になってしまいました。私達卒業生にとっては、母校がなくなってしまったような感じだし、道に迷ったときに先生に相談したくても、お世話になった先生方はいろいろな場所に散り散りになってしまって、まさに帰るところがなくなったという感じです。でも、短大は2年間で本当にたくさんのことをすごい密度で教えてもらうことが出来て、とても有意義でした。本当に勉強する気があれば、それに応えて下さる先生もたくさんいて安い授業料ではっきり言って何倍もの物を得た、という印象が強いです。大きな大学、短大などと違い、少人数制だったので、先生とも親しくなれて、実験的なこともたくさんできたとし、ひとりひとりの個性を理解した上でコメントをいただくことが出来たことが、その後の会社での自分のあり方にも多大な影響を及ぼしていると思います。とても楽しく実のある2年間でした。ありがとうございました。これからの学生さんにも頑張ってもらいたいと思います。
- A14 男 25 才：先生に恵まれていたのでダブリもせず卒業しました。授業の日程がきついと思ったことはありましたが、今思えば丁度よかったのかもしれません。就職してから専門的なことが役に立ったということは、特に記憶していませんが、卒業して良かったと思っています。高卒で就職するよりも現在の方がいろいろな意味でプラスになっています。(気付かない人は多いと思います)
- A15 男 29 才：在籍していた頃はサボり癖があり、授業は欠席しがちでした。就職してからは短大時代にもっと真面目に授業を受けていればよかったと思っていました。現在のカリキュラムがどうなっているのかわかりませんが、自分が在籍していた頃の授業内容は確実に社会に出てから役に立つものだったと思っています。これからも専門知識の基礎、応用の指導に力を入れていってください。
- A16 男 33 才：学生時代の経験が就職してからとても役立っているし支えになっていると思います。
- A17 女 33 才：やっと建築のことが分かり始めて面白くなってきたと思ったら、卒業になってしまった・・・という感じの2年間でした。当時はまだ女性で建築を勉強するのも今程一般的ではなかったし、バブルの全盛期でしたので実習や課題の多さが苦痛なときもありましたが、10年経って良い思い出になっているのはそういった実践的な学習ですし、実際仕事をする上で大変役立っています。きっと多くの人が思うことだと思いますが、それまでは嫌だったはずなのに社会に出ると急に勉強したくなります。あとから“あの時・・・”と後悔しないような、社会で即通用する、より実践的な技術や知識を習得できるような教育を目指してほしいと思います。
- A18 男 33 才：学校が田舎にあったせいか、生徒間の体感、授業への集中ができ、2年間があつと言う間だったような気がします。つまり、環境が良かったと思います。学習内容も実験棟も多く、いろいろな体験ができたと思います。
- A19 男 39 才：大変満足しております。教師は勿論、学生課の事務職員さんも親切でした。東北の田舎故か、環境もいいし生徒も良いし何年前かに卒業生名簿?を送ってもらったときはうれしかったです。今の仕事は、20年もやっているので、気にいってはいますが、訓練校絡みの仕事もやってみたいという気持ちもあります。職業訓練校は実地に即していたので、今でも役立ったと感じています。いろいろ良かったので有難く思っています。
- A20 男 29 才：生産技術科にいましたが、今、一番役に立っているということは、実習でいろんな工作機械が使えるようになったということで、学生時代に憶えたことが今、一番役に立っています。もっと技術実習が多くても良いのではないかと思います。
- A21 男 37 才：実技・実験を中心にした専門性の高い充実した学習ができたと思います。(1984 当時)今はどうかはわかりませんが、理論も大切にしながら、実技・実習を中心にした理解の深いエンジニアの育成を望みます。
- A22 女 24 才：私は舞鶴の染色技術科に在籍していたものですが、2年間はとても充実したものだったと思っています。気になった点はあまり地元の人々に、知られていないのではないのかなと思ったところ。とてもよい学校なので、いろんな人に知ってもらいたいです。広報に力を入れてはどうかと思いました。
- A23 女 22 才：私はこの学校をでて本当に良かったと思います。より実践的で専門的な事がたくさん学べたし、何よりも他の大学と比べても、就職時の評価が高い!!今の会社に入って、あの学校は専門的な事を学べるから、仕事の面でも

- かなりできる子が多いと、上司の方達は言っていました。来年の4月にも1人うちの学校から新入社員がはいってくるらしいので楽しみにしております。これからも、より、素晴らしい生徒達を育成できるようにがんばって下さい。
- A24 男 35才：短大での学習は私にとって就職してから、かなりやく立ちました。これからもがんばって下さい。
- A25 男 43才：自営業の試作屋という事で、将来を考えて、職業訓練短大の一期生として入学しました。卒業後、家業を継ぎましたが、最初の2年位は、自分が何をやっているのか、全然わからない状態でした。がその後、短大で習った事が、仕事にどんどん応用出来るようになり、現在に至ります。入社後10年位で、レーザー加工器を導入し、会社としてもバブルと重なり飛躍出来ました。しかしそれは、その前の10年の経験と短大時代に習った事が、大きないしえとなつたと思っております。先年、同窓会で20年ぶりに大学を訪れ、先生方とも歓談しましたが、卒業生の多くが途中退社など、学んだ事を生かしきれてないと言う事で、大変残念な想いでした。卒業してからは、個人の裁量かと思うのですが、すぐれた人材を多く出し、又それを受け入れる社会作りが、急務だと思われまふ。これからも、こういった大学の必要性(特に地域密着)は、大事な事で、国と民間企業が手を結び、より良い技術社会になる事が、必用だと思ひます。同大学のさらなる飛躍を願っております。
- A26 女 26才：1クラスが人数少ないので、実験・実習などが教えてもらいやすくよかつた。机にむかつて勉強することも大切だと思うけど、実習など体験することが多いほうが後々役に立つと思う。(そのほうが覚えている) 楽しく勉強出来る気がする。
- A27 男 38才：現在、専攻とは異なる分野の職種で仕事をしておりますが、短大時代の実習やレポートの作成時に学んだ事が仕事や物事の考えの基礎となつており、大変なになっております。残念ながら一般教養については、他の大卒の方々より劣りますが、物事の考え方や、現象に対する観察力については、短大時の訓練で養われているため、勝ると自負しております。今後も、実習内容の充実とその指導に重点を置いて頂き、優秀な人材を育成して欲しいと考えております。
- A28 男 22才：この学校は入つてから、しっかりと勉強しなくてはなりません。2年間でしたが、充実した学生生活を送れたと思ひます。残念ながら、勉強した事が今の就職には役立てていない事ですが、電気を学習した事を見込んで、採用され、現在は機械の仕事をしている様です。何かわからなくても、バリバリと仕事をしている姿をみていると、本当に本校を選んでよかつたと思ひます。でも、こんないい学校があるのに、あまり知られていない様に思ひます。高い学費を払つて大学に行くより、本当にいいと思ひますか？人には薦めていますが、まだ入学された方はおられまふせん。
- A29 男 24才：僕は、正直職短に入った理由は、別にやりたい事もなく、授業料が安いので親孝行かな、ぐらゐの気持ちだつたのですが、今思ふと本当よかつたと思ひ職短の先生たちに感謝の気持ちでいっぱいです。僕は、今の仕事がとてもやりがゐがあつて、とても毎日仕事を楽しくやっています。本当に職短に行つてよかつたです。
- A30 女 27才：短大での経験は、役に立つと思ひます。特に実技能力の習得は大変重要だつたと思ひます。
- A31 女 22才：短大生活は、今思ふととても充実してましたし、楽しかつたです。でもあえて言うなら、短大だから仕方ないと言われればそれまでなのですが、専門的な事を学ぶ時間、卒業研究を行なう時間、はしりばしりで、とても”時間”に追われていた2年間でもありました。もう少し自分で考えたり、じっくり研究したり、興味がある分野について学んだりする時間が欲しかつたです。先生方には本当にお世話になりました。今でも短大で学んだ事が仕事の面でも生活の面でも自分を支える糧になっています。ありがとうございました。
- A32 男 28才：勉強も友人関係も社会に出てから役立つものだと思ひます。学生の間色々な事を経験する事は後々プラスになると思ひます。
- A33 女 23才：今、思い出すとやっておけばよかつたことなどが、沢山ある気がします。例えば文章の書き方・論文の書き方、会社に入ると人に聞けなくなる事が増え年を重ねるごとにますます聞けなくなります。なにを勉強したらよいか、なかなか難しいとは思ひますが、これは必要のない(将来関係ない)勉強であろうと思つたものが今は一番役立っているような気がします。実際に働いてみて見えてくる必要な欲しい技術をなつかしい学校で職業訓練という形で身につけることは、いいと思ひます。2年間短大にいてから働き始め新しい友達などもできとても今充実してまふ。本当に同じ事を学びたい人達の集まりだつたので、話もとても合ゐ、今現在でもよゐ理解者です。いろいろな意味で、2年間は、とても大切な期間でした。
- A34 男 30才：私は電子科を卒業しましたが、会社に入社し配属された開発部では電子関係ではなく、機械設計でした。理由としては、電気・電子の分かる機械設計、開発者が欲しかつたそうです。このように、短大で専攻していた分野にて仕事を出来る人と応用してまたは基礎知識として理由する職種につく場合もあります。私は卒研での経験がとても生きた結果になりました。そして3年後海外課にてスーパーバイザーとして5年間、各国に出張しまくりました。そしてそこで生きたのは、先生・教師との会話やコミュニケーションでした。理化学機器メーカーなので、ユーザーは必ずド

- クターかマスターそして大学教授が多いのです。おかげで臆することなく意見できるようになっていました。これからも、少数クラス制で教師と学生が近い距離に居られる短大でいて下さい。
- A35 女 25 才：私の短大生活は、ムダにすごしていたような気がしていましたが今の仕事で役に立っている部分がたくさんあります。今就職難ですが、学生の方達は今勉強できる事をたくさん学んでほしいです。
- A36 男 36 才：私はこの短大を卒業して本当によかったと思っています。在学中は勉強や実習など大変でしたが卒業できた事を今でも誇りに思っています。知り合いに受験生がいると紹介する程です。現在益々自慢できる学校になるようで私としてはとても嬉しいかぎりです。これからも専門的な所はそのまま、とにかくマニアックな感じで、けっして一般的にならないようその道のスペシャリストを目指してがんばって下さい。そしてこの学校でめぐり会った先生方にはとても感謝し、尊敬しています。物事への取り組む姿勢を学び、今でもその言葉や姿（態度）を思い出しがんばっています。
- A37 男 23 才：私は生産技術科を卒業しまして、製造業に働きました。やはり短大での経験は役に立ちましたが、もう少し短大という事もあり、広く浅くという部分があり、そこをもっと専門的な事を重視した方が良いと思います。私は結局仕事を辞めて、今は関連性の違う郵政外務で働いていますが、短大で学んだ事は良い経験となって色々な職業の事が分かり広い観点で見ることができ、仕事の大切さが分かりました。それと卒研はすごく良かったです。友人達と助け合って色々調べて発表すると言う事はこれからの人生でもおおいに役立つと思います。卒業生として今後の学校も発展を祈っています。
- A38 女 29 才：今は、辞めてしまっているが、CADオペレーターとして他の人に比べて、忍耐強くやってこれたと思う。多分、職訓を卒業したからだと思っています。
- A39 男 24 才：今の自分にとって、短大時に身につけたもので一番の財産は人脈や人間関係です。社会に出て、つらい事、悲しい事、失敗した事があった時、自分を支えてくれたものは専門知識ではなく、友人など、人間関係でした。社会に出ての長い仕事人生を考えると、短大時代にただ教科書を頭に詰め込むよりは、共に競い合い、励まし合える仲間がいる事の方が、財産になり、力になると思います。「充実する」事より、「充実し続ける」事の方が大事だと思うので。私は、「留年したい」と思える程、短大生活は楽しかったです。
- A40 女 23 才：現在の職種とは結びつかない短大の学習内容が無駄であったとは、卒業して現在の職に就く時も、現在も思いません。
- A41 男 25 才：短期大学で2年しかなかった為、各分野における学習が詳細に学べなかったのが残念である。学校生活については良い仲間に囲まれ充実していた。
- A42 男 23 才：職場では、学校でやった事は直接には生かませんでした。ただ、その基礎を自分なりに工夫し考える事ができた。だから学校の教育を基盤とし、それをどう生かすかが大事だだと思いました。現在、全く関係ない仕事に就いていますが、発想力・行動性・コミュニケーションなどは必要となっています。最後に授業に関してですが、机上の事より、実践重視にしたスタイルの方がよかったです。それはなぜかと言うと、普通の講義だと、ただ出席していればいいという感じだったからです。ただ、自分で実際体を動かして行なうものは自分があれこれ考え、発想力・想像性などが生まれ、実社会に役立つと思います。
- A43 男 26 才：私は職業能力開発短期大学校で学ぶ事が出来、とても良かったと思います。大学時代の友人とも今も交流もあり、サークルのOBとも定期的に集まる事もあり、素晴らしい先生方の元で学び、友人と交友を深める事が出来た事が本当に良かったと思っています。ただ、他の専攻科の学生と交流する機会がほとんど無かった為できれば交流のチャンスがあった方が良くと思います。
- A44 男 27 才：短大でのソーラーカーの技術、知識が仕事と趣味に生かされています。現在は太陽電池の製造技術の仕事をしていますが、この職業に限らず、ゼミで学んだ事が大いに生かされています。授業料も安く、設備も充実しているので、学生の時にもっと学んでおけば良かったと思っています。実践技術者は企業にとって宝なので、人材育成に頑張ってください。
- A45 男 36 才：私達が学んだ時は実習が多く、専攻分野を体験を通して学ぶ事が出来たので、今でも身につけていることが多くあります。今は少し実習が少なくなったと聞きます。今の流れで、変わっていく必要もあるかとは思いますが、是非そういう分野は残していただきたいと思います。先生方はお元気でしょうか。
- A46 男 43 才：不動産取引で発生した紛争の処理、保証業務といった一見短大時代に学んだものと畑違いの仕事をしています。でも、短大で学んだ製図、実践・実習の精神は生きています。事件概要をいかに分かりやすい図解・図表にしてまとめるか…という分野では大変役立っています。文章表現は大事ですが、第三者への伝達手段としての「図」はとても大切です。「文章はうまいが絵が描けない」「絵はうまいが文章が下手」では務まりません。文学部は絵が描けない、工

- 学系は文章が下手…では困ります。しかし、回りを見るとこういう人間がとても多い事に気が付きます。
- A47 女 48才：貴校のますますの発展を心より願っております。
- A48 女 24才：充実した設備だったのにもかかわらず、あまり活用せずに短大を卒業してしまった事に後悔している。しかし、社会人になり何度かセミナーに参加した事があるが、こういったセミナーを行なう事はとても良いことだと思う。会社側もこういうセミナーを会社の研修等に利用していけばとてもいいのではないのでしょうか。
- A49 女 37才：卒業当時は、就職先の仕事と短大での内容が、近いものではなかったのですが、現在の様な世の中になって、早い頃からコンピューターに接していたことで、仕事で探す上でも、有利な事も多く基礎を学んだ事で、現在の仕事でも、とても役立っていると思います。(在学中は遊んでばかりだったのですが…)
- A50 男 28才：短大での専門分野の学習は卒業後の就職先に関わらず、幅広い技術の習得という意味で大変役立ったと思う。特に卒業研究でのグループ学習(自分は多足歩行ロボットの製作を行いました)は社会人での組織内での業務担当のシミュレーションとして重要であったように思う。現在はシステムエンジニアとして働いているが、短大での学習は一部で役立っているし、前職(生産技術)で取得した”電子機器組立技能工2級”資格も短大卒業時点で筆記試験免除の資格があったため、優先性があった。又、この資格は転職時に多少役立ちました。若い世代の人達は自分が将来どの分野に進むか明確になっていないまま、専攻分野で学習していくのがほとんどだと思うので、幅広い技術への習得、異業種への可能性を含ませた自由度の高い学校でありつづけている事を望みます。又、専門性、就職率が高レベルで学費は安い素晴らしい学校なので、高校卒の進学先としてもっと知名度があれば良いと思います。
- A51 男 34才：私は、今、短大を卒業して14年たってしまいましたが、今考えると、もっときちんと勉学にはげればよかったと考えています。本当に自分がしたい事を早く見つけて、短大でも生活をもっと有意義な物として下さい。しかし、短大生活は、他の大学と違って全てが必修科目だった為大変でしたが、今考えると、充実した学生生活をおくれたと思っています。本当にありがとうございました。時間があれば、もう一度、学びたいと思っています。
- A52 男 22才：とくにありませんが、卒業して思ったことは、いろいろなことを経験できたことがよかったと思います。知識がある、無いでは、考え方がかわります。今、私の中に残っていることは、実験・実習の経験が記憶の中に残っています。だから実験実習のように体で体験する科目を増やした方がやくに立つと思います。
- A53 女 23才：今回アンケート調査に参加でき、とても良かったと思います。卒業してあまり年数を重ねていませんが、お役に立てたのでしょうか。できれば、結果を知らせていただきたいです。私の卒業したインテリア科では、家具製作実習等の実習を中心においた授業内容だったのですが、お金の問題で「その部分を少し削らなくてはならないかもしれない。」という話を聞き、それだけはやめて欲しいと先生方にもお話ししました。実習をメインにしていたからこそ職業訓練だったのであって、増やすならともかく減らすなんてとんでもないことだと思います。卒業し、就職してから実習から学んだことの多くの事が今役に立っています。自ら考え実行し完成させていくことの大切さ、後輩達にも伝えて欲しいです。
- A54 女 20才：専門課程での授業は、実習や実験が中心でしたので、今まで知識として学んできたことを、自分で体験できたので、とてもためになりました。また、実習や実験が組み込まれてくることにより、一週間の勉強にメリハリが出て、充実した学校生活を送ることができました。楽しんで勉強ができたと思います。
- A55 女 21才：今の仕事で実際に役に立ったと思うのは、ワープロ・表計算・データベースなどの資格です。私の仕事ではデータベース(アクセス)を使ってリストなどを作ることが多いので、とてもためになっています。
- A56 男 39才：今回のこのアンケートについてですが、今まで開発に従事してきた者としての意見を記載します。僕が従事しています開発はどちらかというとすぐ製品になる物ではなく、先行研究に属します。そのため、いろいろと問題が出来る教科書的な解決方法では対応出来ない物ばかりです。そこで大事なことは、問題の認識とその問題をどの様に解決するかになります。その為には、あらゆる手段を使用して文献を調査し、自分たちで解決する事になります。よって大学の授業の様に、丸暗記等では解決できません。何処の文献にどのような内容が有り、それをどう利用して解決していくかにかかります。次に、僕の訓練短大での経験が現在も役に立つことがあります。訓練短大は、他の4年制大学の工学部と違ったところは、多くの加工機械を実際に扱うことです。これは、開発する上で作り方を検討する時に役に立っています。周りの工学部卒の技術者は、工作機械の名前は知っていますが、それがどの様な動きで、どの様な加工ができるかを理解している技術者は以外と少ないものです。よって図面上は形になりますが、実際の加工、及び組立となるツールが使えないなどの問題が起き、時間を要することになります。製品の開発の打ち合わせとなる、加工メーカーとの会議でも、メーカーと対等に話を行なうことが出来ます。そんな意味からも、訓練大学としての特長である、実技は大事な事だと思います。但し僕自身在学习中の実技の講義は苦手でしたが。
- A57 女 34才：私は、高校生の時は文系でしたので、最初の頃はいろんな教科にとまどいましたが、先生方の熱心なご

指導のおかげで、何とか理解でき、卒業できました。休日の時にも、友人たちと、授業でわからなかった所などを、検討したり、休みにもかかわらず、先生方も心よく、ご指導下さったことなど、今では良い思い出です。私自身は、結婚後も、仕事を続けたかったのですが、家事とも両立がむずかしかったので、退職をしました。育児が一段落したら、フルタイムは無理かもしれませんが、再就職したいと考えております。今の社会、就職も大変だと思いますが、頑張ってください。

A58 女 31 才：専門職につきましたので、学校はそういった内容を卒業ですか？とよく聞かれました。それを答えてお客さんは、多少不安感がなくなったようでした。一度経験していることはやはり入っていきやすいものです。短大時代の経験は貴重だと思います。私の2年間は充実していたと思っています。

A59 男 33 才：実際に仕事に就いてから携わる業務には、短大時の教育は、ほとんどといってよいほど関連性がなく、共通したものもない。しかし、全くゼロではなく、業務の合間にチョットしたことや、役に立つことや、感謝することがある。卒研の内容については、全く関連がないが、そのテーマの進め方や理解の方法、教授の指導等は、やはりそういった場面において大変良い指針となり、また、有意義な教育であったと思います。一般教育に関しても同様で、全てが必ず就職してから役に立つとは思いませんが、大なり小なり何らかの役に立つと思います。要は、短大時代の講義や実習、卒研をいかに真剣に真面目に取り組むかが重要なことではないかと思ひますし、後輩には、是非声を大にして言いたいですし、学校へもそういった環境になるような取組みをやってもらいたいと思ひます。

A60 男 25 才：短大の2年間のカリキュラムは、正直とても大変でした。特に最後の半年、卒業設計の作業をしている時は、大げさかもしれませんが、今までの人生の中で一番苦しんだ時期でした。授業をこなすこともそうですが、ゼロから何か新しいものを創り出していく時の楽しさとも辛さとも言えるものを経験したと思ひます。実際に仕事に就いてみて、この時の経験が随分生きています。いつも忙しくて、帰りが遅くても、学生生活最後の半年を思い出すと余り苦になりません。授業で学んだ内容の多くは、仕事でも活用できていると思ひます。私は公務員で、公共施設や官庁施設の基本計画、設計、積算、施行監理に至る幅広い業務を担当していますが、基本的なことは、短大時代に知識を吸収できました。

A61 男 25 才：職能短大・大学校ならできるといふ、特性が作り出せる様に努力してください。生徒が「ここの卒業生で良かった。」と思える学校にして下さい。私は、トータル的にはここの短大で良かったと思ひています。

A62 男 26 才：勉学はもちろんだが、それ以上に実技的な教育が身についたのが、今の仕事で役立っている。以前から、就職するならCAD、CAMがやりたいと思ひていたが、特に会社で希望を出してはいないが、1年間の現場研修の後、技術グループへの配属が決まった。今所属している技術グループは、NCデータの作成がメインだが、ポリテクで学んだCADはかなり役立ったと感じる。私が思うのは、もっと実技の授業を増やすべきと感じる。また、卒業研究では、はじめからテーマが決まっていたが、就職先の仕事内容に沿った研究・学習を行いたかった。私の会社(私の部署)では、ポリテクの卒業生が3人いるが、皆会社にとってなくてはならない存在である。

A63 男 39 才：大学での知識が非常に役立っております。特に営業担当者で、建築知識を持っている人は少ないため、打合せ等でプランニング、敷地図、配置図の他、室内パース等を目の前でサラサラ書ける事は、仕事上大いに役立ちました。資格は、宅建を取得しましたが、仕事しながらの勉強は大変です。できれば、在学中の取得が必要かと思ひます。

A64 男 23 才：会社として必要なものは知識であるが、それを説明する説得力がなければならぬので、短大(大学校)の教育の場においてもっと言葉のやり取りができる教育(プレゼン等の模擬的なもの)項目なんかがあると良いと思ひます。あと短大での教育は、卒業後なにか必ず役立つので、自分自身短大卒業者として誇りを持ってました。下手な大学・短大よりポリテクカレッジの方が遥かに素晴らしいと思ひ今日この頃です。

A65 男 38 才：私が在学中は、短大移行直後で、学校の整備がまだまだの状態でしたので、余り参考にならないかもしれませんが、実習科目の内容は、大変役に立っています。

A66 男 38 才：現在の仕事では、入社時より勉強してきた事が基本となり、問題解決・改善等の発案等に大変役立っていると思ひます。4年制大学より実践的で具体性がある。当時の民間企業からの講師の派遣等で接点ができ、情報の収集に役立った。また、第1期生でしたので、先生方は訓練所からの持ち上りの為、実習中心のカリキュラムが多く、技能的な事も学べ、良かった。

A67 男 23 才：短大ではパソコンを使用する事は余りなかったのですが、パソコンを1人1台常に使用できる環境が望ましいと思ひます。短大卒業後、職業能力開発大学校に進学したのですが、大学では1人1台パソコンがあり、常に使えるのおかげでパソコンに詳しくなれ、ワード、エクセル、CADを使えるようになりました。今現在も仕事で役に立っています。



- A68 男 34才：現在、短大時代に勉強したことが、仕事上大変役に立っています。但し、もう少し専門学力の力が欲しい。又、英語力が不足している。今は、海外へ出張も多く、実践している。
- A69 女 23才：専門知識だけでなく、一般知識や教養、常識等も重要になってくると思います。
- A70 女 23才：職短や職大は、他の大学と比べて、社会で役立つ事が多く、就職しても使える事が沢山あります。無駄のない勉強でつまっています。
- A71 男 24才：現在の職場での自分の立場は、極々普通の会社員ですが、今まで自分が学んできた専門知識・技術はとても役に立っています。学生時代に得たものの大きさが、今の自分の中で大きく耀き続けています。知識や業力だけでなく、共に同じように日々課題に追われ、励ましあった仲間とは、今もずっと続いています。同じ苦しみを乗り越えてきた仲だからこそ、今も何でも語り合えるのだと思います。私が通っていた短大は、自然に囲まれたとても環境の良い場所だったので、本当に毎日が充実していました。自分の人生の中で、大きくすごく価値ある2年間でした。あの頃の思いでは、どんな事でもどんな小さな事でも大切にしたいと思うくらいです。今、自分の仕事に自信を持って、もっともっと色々な事にチャレンジして、悔いのないようにこれからも過ごしていきたいと思います。今の自分がいるのは、やっぱり今までの自分がいたからです。頑張る事にゴールは無いので、これからもそう言う気持ちを忘れずに生きていきます。
- A72 女 29才：在学中にもっと色々な資格を取りたかったので、できるだけ在学中・若い内に資格を取り、色々な知識を身につけたかったです。今でも遅くはないと思いますが…。職業訓練校に行き、充実した学生生活を送る事ができたと思うので、現在、何度か転職はしましたが、役に立っていると思います。私は短大に行って良かったと思います。
- A73 女 23才：ポリテクでは、他校と違って安い学費で専門的な学習ができたかと思っています。短期間で深く専門知識を得る事ができました。先生方はとても勉強家で、熱心だと思いました。卒研の時、プレゼンを大勢の前で行った事や、主にMacでの作業では、今思うと二度とできない経験だったと思います。学費の心配を親からされる事もなく、デザインの歴史から幅広くデザインに対して勉強できて良かったです。今はデザイン関係で仕事をしていませんが、今後、デザインを仕事や趣味や何らかの形で続けていきたいと思っています。デザイン科の学生も、本当にデザインが好きな子たちが集まってくれればいいと思っています。
- A74 男 22才：卒研の時には、教師とよく相談・論議等できる環境があった方がよいと思う。一部にしか当てはまらないかもしれないが…
- A75 男 25才：短大で教わった事が、仕事をしていく上でやと理解できているのが現状です。  
短大時代に得られたもの・かけがえのない人・尊敬できる先生・コミュニケーション能力・プレゼンテーション技術・経験
- A76 男 23才：ポリテクに通っていたのですが、大変多くの友達ができました。また、実習などもとても分かりやすく、すごい役立っています。現在では電気技術科はありませんが、是非復活して欲しいと思っています。就職難な時代ですが、後輩のみなさんもいろんな面で活躍し、頑張ってください。
- A77 男 34才：会社の上司に、「この短大の卒業だ」と話した所、「あの学校出た人、結構掘り出し物多いんだよな」と言われた。そう思ってる人もいるのかと思ひ少しうれしくなった。会社では短大出身だとは見られず、ほとんど高卒扱いされる。学校ではあるが、実戦では結構役立つ事を学べる所だったのかな、と思いました。

## B：後輩への激励（後輩の皆さん頑張って下さい。）

- B1 男 26才：一般の大学に比べ、卒業後の即戦力度合が違うので、入学した当初から自分のキャリアを考え必要な資格、能力を身につけつつ学生生活を楽しんでもらいたい。大学側には、インターンシップの導入による(社会責任、企業努力)メンタルヘルス、製造原価等々技術、技能面以外の部分の強化を図ってもらいたい。
- B2 男 34才：何事に対しても興味を持ち、トライする心を養って欲しい。また自分自身を打ち込む、特長を持った社会人になって欲しい。
- B3 女 27才：人間関係 学習…全ての経験が生かされて今の自分これからの自分に繋がっている、学校での学習、経験も社会に出てすぐに生かされるものではなくても、いずれ 何らかの形で生かされるものだと思います。それを、感じることができるかは 本人次第。
- B4 男 27才：短大の関連各位さまへ、これからも苦手育成に力をそそいで頂きたい。後輩の皆様へ、人生迷いが発生したときには一度立ち止まることも可なり
- B5 男 36才：大学卒と比較されても短大なので不利な面が多い。専門的な知識でカバーできればいいので後輩たちに頑張ってもらいたい

- B6 男 24才:短大行ってた頃は、卒業できればいいという考えで勉強なんか全くやんなかったけど今はもっと勉強をしていればよかった、いろいろやれば良かったとすごく後悔しています。今では誰でもできるような仕事をしていて全てを無駄にしてしまったのが悔しい。やっぱ後悔だけはしちやいけないと思う。
- B7 男 24才:私の場合は、学生のとて、授業を真剣に受けてなかったのて、あまり成績が良くありませんでした。学校を卒業して社会に出て、今習っていることは使うことは無いだろうと、慢心な気持ちでいました。それに、もし就職しても上司や先輩が指導してくれるだろうと思っていました。しかし就職して、社会の上司や先輩が教えてくれることはレベルが高く、なかなかついていけませんでした。今、思うと学校で習った基礎知識をしっかり学んでいればと、後悔しています。だから今、学校で授業を受けている後輩たちは、今受けている授業や実技はこれから先、社会に出る上で、とても大切な時間です。今、無駄なことをしていると思っている方もいると思いますが、学校を卒業して社会に出ると必ず必要なときがあると思います。だから、苦手な授業などあると思いますが、サボったりせずに、たとえ先生の話聞くだけでいいので授業を受けてください。あとわからないことは、ぜひ先生方に質問してもらいたいと思います。先生方は、その道のスペシャリストだからわからないことはどんどん答えてくれるはずです。今、就職難でみんな、苦勞してるとありますが、今している勉強や実技は、いつか報われる日が来ると思うので頑張ってください。そして思う存分エンジョイしてください。
- B8 男 29才:就職先は良く調べてから入社すること。妥協して入社しても転職を繰り返すだけになるので。大手企業の技術職に就くなら英語が必須。書類は英語なので英語を勉強していないと、後で苦勞します。
- B9 男 28才:専門的な知識も必要だと思いが、もっと物の本質を見極める力が必要だと思いが。交友関係を大切に頑張ってください。
- B10 男 26才:学生には、今のうちに学べるだけ学んだほうがよい、仕事をしていく上ではかならず役に立つと思いが。専門科目だけでなく、一般知識教養をふくめて。
- B11 男 37才:大変ご苦勞様です。Q16で「あまり充実していなかった」に○をつけたのは、私自身のやる気の無さだったと思いが。短大時代つまり学生時代は、会社に就職して仕事をする(働いて給料をもらう)という事がどういふことか理解できていないといふか、分からなかったのが、やる気に繋がらなかったのだと思いが。会社に入り実際に業務についてみると先輩たちの足元にも及ばない自分の技術の無さに自信をなくしました。それから勉強をし、今に至っています。それも短大時代の基礎知識が役に立ったと思いが。つまり何が言いたいかといふと、会社に入ってから即戦力になれるよう、大学時代にできるだけ多くの技術を身に付けて欲しい(そのために職業開発大学に入学したのですから)と思いが。サークル活動や遊びでもいいですが、それでは給料はもらえませんから。たいした助言でなくて申し訳ありません。
- B12 女 :私は本来インテリアの仕事がしたく、この短大に進んだわけですが、まず全体を学ぼうと思いが建築のほうへ入学し、実習をしているうちに現場の仕事に魅力を感じるようになり、Uターンし地元の建設会社で現場代人という道を選びました。そのときは、無我夢中で得るものも大きかったですが、結婚し自分の将来が見えてくると、あのまま東京へ残り本当に自分のやりたかったインテリアの仕事をしておけばよかったと、後悔の念があります。東京で一人暮らしをしながら働くことはお金がかかるとか、家族と離れるのは寂しいとか目先のことだけを考えず長い目で見て、今しかできないことをやるようにして欲しいと思いが。短大の能力を本当に出し切れる場所は田舎には少ないように思えます。短大に在学できたことは私にとって大きな誇りです。
- B13 男 23才:学校と職場で違う点はだれにも頼らずに自分で答えを見つける必要があること。また正解は特に無く、最も近い形を選択する必要がある。なので自分ひとりでも何事も調査、実践する能力がとても重要になる
- B14 男 28才:現在は資格会社です。企業もISOを取得していないと仕事するにも不利になってきました。人間も社会に出れば商品です。企業も個人に対して経費はかけたくありません。ですから学校にいる間に取れる資格をとっておいたほうが良いです。
- B15 男 29才:学校での経験はかならず役に立ちます。勉学に励んで卒業後充実した人生を送りましょう。
- B16 女 22才:資格はとるべき!今になってむしように勉強がしたくなるから!就職活動は1年次からこまめに情報収集すること!私はもっと真面目に取り組めばよかったと後悔しているから。そんな思いは後輩にはしてもらいたくありません。いい会社に就職しても劣等感を味わってしまいます。
- B17 男 38才:創造力、コミュニケーション力は社会に出てから必要になります。在学中に身に付けるよう努力したほうがいいと思いが。
- B18 男 28才:短大在学時は先生方に大変お世話になりました。平成6年に職業能力開発短期大学校 制御技術科を二期生として卒業いたしました。卒業後現在 ○○工業(株)という○○電力(株)100%子会社の建設会社で働いております。主

- に〇〇電力の火力発電所で 定期点検手入れ・日常保守業務を任務しています。配属先仕事内容は短期大学当時の勉強内容とは若干違いますが、学科と同じ名前である制御関係の仕事をしており、とてもやりがいがあり責任がある仕事だと思います。制御の大まかな分類として、プロセス制御とFAなどの制御に分かれると 会社に入ってから研修にて教えていただき当時、短大でやっていた制御は後者であり違うものだということが分かりました。卒業してから早8年が経ちますが、短大でやっていた制御の勉強が最近になって役に立っています。どんなところで、勉強が役に立つかわかりません。学生当時深く勉強できなくても、存在を知っていることの大きさを学んだのではないかと思います。就職してからは仕事や人間関係や勉強と、趣味(サーフィン)で楽しんでいます。私は短大時の学生生活をエンジョイできたと思います。後輩の皆さんも、自分が面白いと思う仕事を探して就職してください。期待しています！
- B19 男 24才:学生の間は時間がたくさんあると思うので遊びやその他のいろいろな経験をしておくといいともいます。就職すれば一般教育・専門科目により、実習の方が重要です。学校で覚えられる事は限られてますが、いつまでも日々勉強ですから何でも頑張ってください。
- B20 女 27才:短大の友人とよく集まるので、テニスコート・体育館等を利用したい。学校の名前が変わったことを最近まで知らなかった。知らせて欲しかった。☆やっておけばよかったと思うこと 短大時代はとても忙しくて充実していましたが、語学の勉強、海外旅行をもっとしておけばよかったとおもいます。そのころは、時間がなくて精一杯だと思っていただけ就職するとさらに忙しくなります。学生時代に語学を勉強して海外に行くのは大切な経験になると思います。皆さん頑張ってください。
- B21 男 35才:お世話になります。短大卒業後約13年経過致しました。建築設計事務所という「設計畑」を歩んで参り、これまでの経験より一言申し上げます。「好きこそ物の上手なれ」と申しますが、この言葉こそ、職業人として、その核心をついているのではないのでしょうか。現況、その中そう上手くはいかないはずはないとの意見もあるかと思いますが、自分の能力を生かし楽しんでこそいろいろな意味で上手くいくのではないのでしょうか。知識より知恵を！特に「トラブル解決能力」を身につけて戴きたいものです。社会は、学校での生活とは違います。「無」から「有」を生む職においては、なおさらの事です。ようは自分のキャラが立つかどうかでしょう。その努力をしてほしいものです。アンケート項目にもありましたが、いかに情報技術が発達しても、人と人との直接的なコミュニケーションを大切にしてください。そして、若者らしく元気に活力がみなぎってこそ、魅力的な若者として映ります。お互いに頑張りましょう。一卒業生より。
- B22 男 28才:短大のときに経験したことは多方面で、あまり目に見えて生かされているという感じはしないが、就職して時間が経つにつれて生かされていることを実感する。後輩の方も短大で経験したことを大切に頑張ってこの不況の中で生き抜いて欲しい。
- B23 男 39才:パソコンが使えないとやっていけない!
- B24 男 37才:後輩の皆様へ・遊ぶこと・学ぶこと・何にでも真剣に取り組むこと・先生とはよく、コミュニケーションをとること・先輩が何を勉強しているかよく見ること。先生へ・出来のよく無い生徒の面倒をよく見て欲しい・興味をもてる授業をしてほしい。
- B25 男 25才:勉強は一生つきまとうもの!
- B26 女 33才:1. 地方公務員になりたい方へ 安定だけを求めているなら働き続けるにはいい職場です。もしそうでないなら、①何故公務員になりたいのか②公務員になって何をやりたいか③その実現のために主たる手段は何か、これを忘れずに書き留めておいてください。公務員に限った話ではないかもしれませんが、出る杭はぬかれる。多くのことはトップダウンで決まる。あつという間に広まる噂。真面目でやさしい人にはお勧めできません。12年勤めてきて、私は一体何をやりたかったのか、すっかり忘れて雑務に忙殺されています。ここまま食べていくために働き続けるのも虚しい。2. 短大を卒業して後悔していること、学歴社会ではないといわれるが、はっきり言って短大卒は何かと不利。化学職種を就職情報誌でさがすと、まず「大学、要英語能力」。また学校法大綱が変わっても短大卒の扱いは変わらない。大学院へ進みたいくてもとうぜん門前払い。大学に進学すればよかった。最も家計の事情で当時ははやく就職したかったのだが。
- B27 男 26才:後輩たちへ、自分の技術向上と人間関係を大切にして下さい。
- B28 男 27才:職業訓練で学んだことが生かせる会社に就職できるとは、かぎらないので就職が決まった所で頑張ってみてはどうですか。
- B29 男 40才:自分が将来何をやりたいのか、目標意識を持たなければならないと思う。何気なく学生生活を送っているのではあれば、卒業しても役に立たない。社会は考えているよりも甘くない。
- B30 男 32才:訓練科の選択にもよりますが、シーケンス制御、力学等は現在の職場に大いに役立っています。それぞ

れ希望の就職先は早めに方向を決め、それに必要と思われる科目は十分理解するようにしたら、将来役に立つと思います。

- B31 男 36 才：就職先を選ぶときは、ネームバリューや一般的なイメージ、待遇等にこだわらない方が良いでしょう。一見関係なさそうな就職先でも自分の技術が生かせるそうで、おもしろそうなら、そこを選ぶ価値はあると思います。10年後、いや1年後も分かりませんから。私の卒業に職業訓練短期大学校も最近な4年制に変わり、より充実した教育がなされるようになったとかで、羨ましく思います。今の会社は、一応実力で評価してくれますが、やはりどこかで「短大」の陰はつきまといます。それはともかく、より充実した教育、訓練でたくさんの優秀な修了生の方を送り出し、ますますのご発展をお祈りしています。
- B32 男 24 才：短大時代に取得させてもらった資格のおかげで会社に入っても即戦力となれたり、専門的な話に自然に入っていけたりします。短大時代の技術、知識は必ず役に立つ時代がきます。頑張ってください。
- B33 男 39 才：後輩へ、いろいろなことにチャレンジして達成する努力を学生時代にしておけば役に立ちます。短大へ、私の場合卒業してから、資格取得するための受験資格が無かったので就職後苦労しました。短大の多くは資格試験の受験資格を整備してほしい。後輩へ、学生時代に取れる資格があればどんな資格でも取得することが大事です。誰でも目標がなければ勉強しづらいですし、資格のために勉強することでいろんな知識が身につきます。これはまさに一石二鳥です。
- B34 男 37 才：これから社会が必用としている人材は、リーダーシップの取れる判断力のある人間だと思います。また、常に向上心をもっていろんな事にチャレンジしていかなければ、生き残っていけないと思います。ただ、ライバルを蹴落として上に行こうと思うのではなく、互いに協力したり、助け合ったりすることも忘れてはならないですし、コミュニケーションによって仕事の進行が変わってくることもあります。短大での勉強も大切ですが、サークル、アルバイト等で社会勉強、コミュニケーションを学ぶのもよいと思います。あと、学生時代に将来を見据えて、免許、資格を多くとっておくことを助言します。(社会人になってから取得するのは難しいです)短い学生時代ですが、がんばってください。・リーダーシップ・判断力・コミュニケーション・よい関係のライバル、友人・向上心・免許、資格
- B35 女 37 才：私が入学した当時には、まだまだ女生徒がとても少なく私が学んだ科には女性は私一人という環境でした。学校側がとても気を使ってくださり、何とか充実した2年間を無事修了することが出来本当に感謝しております。ただ、女子中、高からいきなり一人で入っていった訳で、友達たちのコミュニケーションがいまひとつで、もう少し慣れればよかったと後悔しております。現在はやりがいのある仕事を求めて女性の方が、たくさん勉強されているというのは本当に喜ばしく、期待したいと思います。より高度な技術を身に付けて頑張っていってほしいと思います。
- B36 男 22 才：いっぱい勉強していい仕事についてください。
- B37 男 29 才：どこの職場も同じだと思いますが、就職先を選ぶ時、学校にきている資料はとても現実と違っていることがあるので、覚悟しなければなりません。たとえば、週休2日制と書いてあっても現実ほとんど休みが無いとか、就業時間も現実と異なるし、残業してもお金が出ないとか、とにかくどこも同じだと思うが、就職したら学生時代と比べて遊ぶ暇が無いことを、感覚でいいので伝えてほしいです。“会社に入ってすぐ止める人が多いです。”
- B38 男 25 才：自分のやりたい職種をはやく見つけて学生時代から必要な資格、知識を見つけるべきだと思いますよ。社会人になれば仕事が忙しくて勉強したくても出来ません。頭のやわらかいうちに出来ることをやっついて!
- B39 女 24 才：短大時代、就職してからの3年半を改めて振り返り、自己の成長を再確認する良い機会となりました。私の卒業した職業能力開発短期大学校システムデザイン科は廃科となり、寂しく思いますが、短大教授陣の教育、管理体制、特に問題視する部分もなく良い環境下で学べたと思っています。私が2年間で学んできたことは全て(学問・実技・コミュニケーション等)今携わっている業務とリンクし、あの2年間なくしては、今の私のキャリア主義思想はありえないと思っています。私自身が秀えた人間ではないので後輩たちへの助言はさしでがましいとは思いますが、若い感性で良い物に触れ自己を磨き自分の目指すべき場所を見つけてもらいたく思います。将来のビジョンをしっかりと描くこと、何よりの道しるべになると思います。学生のうちに良く遊び、よく学んでほしく思います。末筆ながら、御一同様の今後のご発展を心よりお祈り申し上げます。
- B40 男 31 才：今、自分の働いている職業の(空調、衛生設備)という建築業の中で建築(ゼネコン)の下請けで設備(ザブコン)という立場にいますが、制御技術科を卒業した自分だったので間違いでした。我々の立場というのは、設備的なことはどうぜんながら、建築的な事も理解してないとつとまらないので、せめて住居環境科を選択していれば・・・とあったこともありました。学生時代、真面目に勉強はしていませんでしたが、短大で勉強した事とほとんど関係ない職種についた為、働いてから苦労しています。今でも、毎日覚えることが多々あり、それなりに頑張っています、大変な職種だと思います。あくまでも理想ですが、短大等で学んだことが全てとはいかなくともある程度活用できる職種に進

- めればと思います。
- B41 男 24 才：短大での学習、実習等も大切だが、実際職場を体験する必要があると思う。これは1日だけではなく、少なくとも1週間、どんな雑用でもかまわないので、職場を体験すれば、雰囲気など感じることに、スムーズに仕事に入っていけると思う。後輩たちへは、やりたい仕事をするには、勿論すばらしいが、続ける仕事を選択することも必要であるということ。社会に出たら、自分を向上させるには、より多くの人と触れ合い、交流をもつこと、失敗の先にはかならず成功があるということ伝えて。
- B42 男 24 才：専門分野には長けていて「当然」であり、それよりも顧客とのコミュニケーション力を養わなければ、地場中小企業でのSEは務まらないと思います。(地場中小企業では、社会で開発専門のような仕事はまずありません) 学生時代に身に付けた技能に固執しないで下さい。時代に取り残されます。「技術志向」にならないようにしましょう。技術は顧客のニーズに応える為のルールに過ぎません。同期の文系卒よりは、仕事における新技術の飲み込みが早いはず。その差を生かして理系に不足しがちな人間的な部分を伸ばしてください。
- B43 男 25 才：仮に将来今学校で学んでいる分野と全く異なった分野の職業を選択したとしても、今学んでいることは、決して無駄にはならない。かならず何らかの形で役に立つときが来ます。在学中に沢山、良い経験をして下さい。
- B44 男 32 才：これからの時代は専門性のみならず幅広い知識や経験が必要かと思えます。また、雇用姿勢の厳しい中では、企業への道も将来投打に組み込む、必要があるとおもいます。専門性はより深く、経験は広くという人材が望まれていて厳しい現状はまだ続くかと思えますが、とにかく狭い領域にとらわれず色々なことを広く深く取り組むことが大事だと思えます。頑張ってください。
- B45 男 24 才：職業訓練校は、技術的、専門的な職業に就きたいと思っている人にとっては大変役に立つ学校だと思います。自分の場合は漠然とデザインの仕事に就きたいと思い、デザイン科に入学しましたが、デザインの中で、なにかしたいか絞り込めず、結局、デザインとは無関係の営業という職業につきました。しかし周りの友人の中で、最初から細かく1つにやりたいことを絞り込んでいた人は大企業にも入りまし、毎日充実した仕事をしているようです。これから職業訓練校に入学される方の中で、目指す職業、職種が決まっている方は、必要と思われるカリキュラムはしっかり勉強して吸収して下さい。まだ決まっていない方は、早く将来の自分の像を描き、それに向け勉強し、夢をかなえてください。
- B46 男 40 才：サラリーマンはピラミッド方式で自分のやりたいこと、意見がなかなか通用しない。
- B47 男 23 才：職場では理解を一つ一つしていかなければ仕事になりません。何かと時間を取られてしまう毎日をお過ごしかと思いますが、何事にも疑問を持ってチャレンジし、多くの知識と自信を持って就職できるよう、今を大切にしてください。
- B48 男 25 才：社会人として最低限必要な知識・礼儀等は各個人で身につけておく。専門技術については幅広く身に付け、就職後、各職場にて伸ばしていけるようにすると良い。
- B49 男 25 才：短大の学習は、実はすごくためになることをしているのにわかるのは就職してから気づきます。勉強は大切に。後輩達へ、現在の社会は(会社生活)きわめてきびしいです。私は、入社してから3年間設計でCAD業務を行っていて、その後技術職へとなりましたが、業務の縮小により入社して4年間働いた職場がなくなり、現在製造現場にいます。デスクワークから立ち仕事にかわりたいへんです。しかも、単純作業でやりがいがありません。
- B50 男 30 才：段々と先生方から学ぶ姿勢がよくないと、先生たちから聞いている。身なり、挨拶からもう一度考えなおした方がよいと思います。
- B51 女 21 才：就職難が続いていますが、ぜひ、自分で納得のいく仕事や職場を見極めて、就職先を選んでもらいたいと思います。私は、面接というのは、企業が自分が会社に合う人材であるかどうかを見るだけでなく、自分にとって、自分の目指す道を進んでいくためには必要な経験であるか…ということを見極めなくてはいけない「場」だと思っています。(←自分は失敗しました)何でもいい、何か目標を持つことが大切です。ただ流されて、生活をしていると、いつか必ず大きな壁にぶつかり、周囲の人とは大きな差がついてしまうことになるでしょう。頑張ってください!!私も頑張ります。
- B52 女 27 才：我が母校が閉校になってしまった事は、残念に思います。設備が整っている学校だと思っておりますので、何か役に立っていただける事を願っています。また後輩達へ、社会に出てからは、なかなか学生時代の様な専門的な勉強はできないものと思います。精いっぱい勉強してください。
- B53 女 28 才：職訓は、他にはない設備、環境だと思います。そんな中で学べるという事は、とても、有難い事です。あの時、もっと、勉強しておけばよかったと、思わない様、充実した生活を送ってほしいと思います。
- B54 男 22 才：近年の不景気で卒業後の就職もなかなか大変なこととは思いますが、とりあえず就職できればという考

- え方はしないで、自分のやりたい仕事、就職する会社の事、よく考えて決めてください。同期の人に就職した方がいいが仕事や環境に対する不備がつのって辞めた人、職場の環境（設備）が悪くて身体を害したために辞めた人もいます。実際、就職してみないとなかなかわからないこととは思いますが、よく考えて就職するようにしてください。短大の方でもなにかと大変だとは思いますが、しっかりサポートしてやって下さい。
- B55 女 21 才：今習っている事は、将来絶対役に立つので、頑張ってください。あと、今のうちから色々な人と会って自分のネットワークをひろげてください。また自分の考えがひろがるかもしれませんから…。
- B56 女 30 才：私の会社は、100%の外資になり、社員にとっては、大変なにかと厳しい中での仕事となっております。MB0 というものは数年前から導入されて、目的意識のない人には、つらいような気もします。というか、それでは業績に貢献できないので、とうぜん自分の目標も達成できず、給料も査定も下がっていきます。手当もだんだん減らされ、最終的には、やる気のない、仕事のできない人間は会社にとって不要になっていきます。それだけに、やりがいを感じる人もいでしょうし、やめたいと思う人もいと思います。ただ、後輩達にいいことは、「自分のやりたい仕事だけをやっていればよいということは通用しない」ということです。私自身、全く違う仕事をしていますが、技術に携わりたい一心で、上司に相談したり、一生懸命がんばってきたつもりです。これからの後輩達にも是非がんばってほしいと願っています。
- B57 男 25 才：私が学生の時には、すでに不況の中で就職も難しい状態の中なんとか仕事を見つけることができました。現在はさらに悪化し、企業もなかなか採用を取らないと思われまます。今、企業が求めているのは、入社して即戦力として使えるかどうかです。私の会社でも、新入社員に対して、短期間の研修ですぐ実践という形を取っています。在学中は将来どんな仕事がしたいのかを考えて、企業が求める人材になってほしいと思います。
- B58 男 26 才：就職活動する前に、本当に自分がしたい仕事を見つけて、それから活動するべきだ。
- B59 男 23 才：就職活動は自分の将来がかかっている所以で真剣にしたほうがいいと思う。
- B60 男 23 才：学校で習った事を十分に発揮できる仕事についてほしい。
- B61 男 37 才：正直言って、短大で学んだ事が、そのまま、企業で生かせるのは難しいと思いますが、専門知識よりも一般的な基礎をしっかり身につけた方が良くと思います。後は企業に入ってから、いろいろな経験をつんでいけば、段々、専門知識が身につきます。また、OJT（オンザ・ジョブ・トレーニング）等の教育も、結構、充実しているものです。最後に、学校は、お金を払って教えてもらう場所です。企業は、自分が企業に貢献して、お金をもらう場所です。想像以上に、企業は厳しい状態になっています。ダメな人間は、すぐリストラの対象になってしまう事も多々あります。これから就職を考えている人は、とりあえず、企業に入るのではなく、企業に入って自分が何をやりたいのか、自分の考え、意見をしっかり持っていかないと、ツマラナイ人生になってしまいます。非常に厳しい世の中です。まわりに流される事なく、一生懸命頑張って下さい。
- B62 女 22 才：将来的には使える使えないは別として、基本的な専門的知識は修得した方が良くと思う。いざ、就職に就いて、必要なかったり、関係ない事だったとしても、どこかで、考え方を換え、必要な情報におきかえられる事もあると思う。
- B63 女 28 才：相手の気持ちを考えた行動できる人に。マナーをまもるように。（ケイタイ、路上・電車内・ホームで座りこまない）忍耐
- B64 男 24 才：職種に応じた、細やかな専門的知識は、就職してから身につけられるので、やはり、ベース的な知識は、就職前に、きちんと身につけておくべきだと思う。
- B65 男 22 才：専門的な事は社会に出てから学ぶ事が出来るが基礎が出来てないと前に進む事ができないので、学校等では基礎を中心に学ぶ事が大切だと思います。
- B66 男 28 才：短大の短い学生生活を学習のみならず、人間形成の大きなチャンスと思い何事についても全力でぶつかって欲しい。短大時の友人は卒業後も、自分の大きな財産です。
- B67 男 26 才：学校で研究等つらいと思っても社会に出たらそのつらいという気持ちは全く小さいものです。社会は甘くありません。エンジョイイしながら真剣に研究がんばって下さい。
- B68 男 28 才：臨機応変な思考力を身に付けて下さい。
- B69 男 26 才：勉強は、できるうちにやっておいたほうがいいです。友人関係は大切にしておいたほうがいいです。コミュニケーションは、とても重要です。
- B70 男 22 才：目標を持って無駄な事はない。
- B71 男 24 才：学校で学ぶ勉強はあまり楽しくないけど、実際に会社に入って仕事をすると「あっこれ学校でやったことあるような気がする。」と、なんとなく憶えている時がよくあって、でもはっきり憶えていないので、一から調べ直

- しになる。でも学校はそんなものではないかと思う。仕事にテストはないけど、わからなければ、資料を出して調べて問題を解決する。そんなものだと思う。だから学校では、なんとなく勉強し人と人とのコミュニケーションや人間関係を大事にすることは重要だと思う。そして専門知識は学校で学んだことを会社で復習していれば社会人生活は、楽しくうまくいくのではないかと思います。
- B72 男 25 才：就職につくことの難しい時代の中で、現在の仕事につく事が出来た事は幸せ者と思います。しかし、現実には厳しく、楽観視は出来ません。私も今年の2月に会社の新しい機械導入の為使用目的と指導の為に1週間程、ドイツに出張してきました。いい経験をしてきました。これからも地道に仕事を続けて行くだけです。皆様もがんばって下さい。今後の短大の発展をお祈りします。
- B73 女 32 才：短大で印刷の事を学び、そのまま印刷会社へ就職。基礎的なことは短大で学んでいた為、同期の人に比べたら会社の方の説明を早く理解する事も出来たと思っています。短大で基礎をしっかりと学んで仕事に役立てる様にしたい。
- B74 男 26 才：採用を検討する際、学生時代に学んできた内容を重視するよりも、個人の人間性を重視します。私の卒業した学校はレポート等の課題も多くそれをこなした、という自信が芽生えました。学生時代に学んだ事を仕事に直接役立てる事は難しいと思いますが、自分の土台になっている事を信じて欲しい。学生生活を誇れる、そんな時間を過ごして欲しいと思います。
- B75 男 30 才：これからも日本の優秀なエンジニアとして、最前線で活躍していただきたいと思います。
- B76 男 30 才：企業と企業の付き合いで、仕事は成り立っていない。人と人の付き合いで仕事は成り立っている。人格・コミュニケーション能力こそ最強の武器
- B77 女 25 才：短大生活において、本当に先生方にはお世話になりました。あの時の先生方の教育、訓練があったおかげで今があると思えます。現在、私は現場（住宅）で働いているのですが、学校で学んだ事を「あっそういえば教わったな」と思う時があります。学生時代は、あまり理解できなかった事が今やっと理解できる事もよくあります。今後も、就職難は続くと思いますが、前向きに自分のやりたい事を若いうちに追い求めて欲しいと思います。その後、お金や現実、先の事を考えても…と私は思うのですが？まずは、自己実現を！と思います。
- B78 男 27 才：とりあえず大学・短大とは言わずしっかり自分が将来何をしたいかしっかり考えてから大学・短大に入学する。そして、自分が将来携わる科を選んで、しっかり勉強して下さい。
- B79 男 29 才：なるべく、最初に就職したところを簡単に辞めない事。となりの芝は良く見える所もあるが、今いる職場を大事にした方が良くと思う。
- B80 男 29 才：短大という時代でありにも忙しく、また、時間でここまでは理解しているのが当たり前という中、友達との良い関係が力になった。また、いかに専門知識があっても、その人間性が職場では重要な意味を持つ事を理解する事ができました。発想力や、理論的な考え方も「どのように話すか」で良くもなり悪くもなるので、まだ学生の時は自由ですから、自分の意見をどのように伝えるかを学ぶと良いと思います。
- B81 女 29 才：いつか何かの役に立つことが、学べると思います。がんばってください。
- B82 男 40 才：短大を卒業して、人生交通事故や失業や病気など、波乱万丈山あり谷ありと今まで色々人生経験をしてきましたが、今の日本の厳しい経済や社会不安の時代自分にとって一番必要な事は、自ら人生を前向きに切り開いていく事であり、その源は自分に対する自信と努力と強い精神力であり、私の経験上特に必要なのは自分自身への自信でありそれがないといろいろな試練に遭遇した時に問題を解決しようという前向きな気持ちが生まれません。(日本経済と反比例する自殺者増加は他人事と思っはいけない。)これから日本は中国や後進国の世界の工場と化す昔の日本のような自信とエネルギーに満ちた国と戦う事になり、今の自信喪失したうつ状態の日本は明らかにどんどん競争力を失いつつあります。実際株式市場などを見る限り、企業淘汰の波は今まさにやって来ており、市場は強い企業は益々強く弱い企業は株式市場からの撤退を額面50円以下の株価をもって催促します。資本市場はもう弱肉強食時代に入ってきており、このような世界的な流れはいつれ個人レベルにまで来る事を予言しており貧富の差はどんどん開き、本当の意味での大競争時代がやって来ます。その時代に反発するかのように各国でテロが起きているのも、そういう時代背景が根底にあるように思われます。だから今の日本に昔の自信が必要なように、各自一人一人、今後の厳しい時代を生きていく為にも、強い自信を持てるよう頭の柔らかいすべてに柔軟な短大の時期にどんどん知識と生きる術を身につけてほしいと老婆心ながら後輩の方々に伝えたい。そう言う自分本人も日々勉強と努力を怠っているので本文を書きながらハッと我に気づいた次第で心機一転、明日から頑張ろう！乱筆乱文をお許しください。以上、同短大の知名度が低いので高めて欲しい。
- B83 男 28 才：就職すると、他の会社が良く見えるが、意外と入ればそうでもない。転職する場合は、何か一つでもそ

- の会社から学んでから就職するべし。
- B84 男 22才：就職先は慎重に選んでください。
- B85 男 25才：今の職業とは、全然違う事を習っていましたが、私にとって友人がたくさん出来た事が、短大に通ってよかったと思う。短大でもっと、真面目に勉強しておけば好きなデザインを仕事にできたかなあと少し後悔しています。
- B86 女 29才：短大で学んだ事は、役に立つところと役に立たないところが両方ありました。(現在の仕事内容に)卒業してもうすぐ10年になりますが、まさか卒業後ずっとプログラム開発を行なっているとは思ってもよかったです。情報システム科に在学していたのですが、就職希望は事務職でした。結局就職したのは、ソフトウェア開発でした。続けられる限り、今の仕事を続けていきたいです。
- B87 男 31才：実践あるのみ！！
- B88 女 23才：これから学習される方には将来の事をよく考えて、しっかり勉強してほしいと思います。就職先の見学や夏休みなどの期間を利用して実際に仕事体験させてもらったり積極的に先につながる考え方をしていってほしいです。
- B89 男 37才：情報収集力と理解力・専攻学科等の知識+α (関連職の末端までの広い知識)
- B90 女 30才：就職先は自分の目で見、耳で聞いて、話をして(例えば会社説明会に進んで参加するなど)決めた方がいいと思います。他の人からの紹介も良いのですが、人それぞれ考え方や価値観が違うので、それを鵜呑みにすると、いざ行ってみると全然話と違って(考え方や価値観の違いによって)となってしまう、後悔してしまう事もあります。そうすると、日々の仕事が苦痛になってしまいます。是非、自分で納得いく就職をして下さい。今は、不景気で大変だとは思いますが、頑張ってください。
- B91 男 29才：運動も忘れずにしましょう。
- B92 女 28才：現在では就職難である為、私の友人も、その専門職に就職できた人はほとんどいませんでした。理想と現実には本当に大きく違っていると思います。もっともっと専門知識を求めていかないとなかなか難しいのではないのかなと思います。女性の場合は、出産があるため職場がしっかりしていないと続けていく事が本当に大変です。技術職であればなおさらです。
- B93 男 36才：短大へ、夜間就業訓練コースを！埼玉に短大が無いので利用しにくい。後輩達へ、物作りが見直されていますので、頑張ってください！
- B94 男 39才：実際の現場には実際の現場のやり方があり短大で身に付けたものがそのまま生かせる事は少なく、逆にいかに早く慣れるかがうまく現場に慣れるコツだと思います。その為には、各科ごとの基礎の部分をしっかりと身につける事だと思いますので、コツコツと基礎を体・頭に叩き込んで下さい。
- B95 男 29才：自分にとって何が重要かを見定める事
- B96 男 34才：これからの日本はTV等で放送されている様に、特に製造業種は大変になってくと思います。就職難等、問題は私達の周辺でもよく耳にします。これから卒業される皆さんには、技術力や知識だけでなく、精神力や言動力、行動力等社会生活をしていく中で最も大変な所を絞って努力して欲しいです。又、職員の方々も大変ではあると思います頑張ってください。
- B97 男 35才：後輩のみなさんへ 地元(地方)に残らなければならない環境にいる人は、専門性の高い(私はデザイン)職種につくのが難しい。それらを良く考えた上で、科をえらばなければならないと思う。就職時も自分が置かれている立場などを考えないと何度も転職してしまうかもしれない。短大にもメークかけないし(私はかなりあまーい考えだった)私は短大での学習は、今となってはすべてムダなことになってしまった…趣味的なことでは役にたっているが…とりあえず短大に入りゃいいと思って入ると後で後悔することになりますよ。
- B98 女 26才：短大は2年間しかなく、私の場合は学費を自分で支払いながらだったので、本当にあつという間でした。勉強は、せっかく入学したのにあまりできなかったと今になって反省させられています。今、1年間だけ中学校で非常勤講師として仕事についていますが、パソコンの先生だが他のもやっぱり聞かれます。生徒にとっては先生なので、分からないなんてあまり言えません。技術的なことはもちろん、一般知識ももちろん必要です。がんばってください。
- B99 男 27才：仕事を妥協して選択せず、自分の進みたい道を明確に出来るように短かい学生生活を送ってほしいと思う。
- B100 女 23才：学生時代、講義によっては、「こんな勉強社会に出てから、必要ないと思う」と考え、あまりまじめにしていないものもあったけど、どんな講義どんな勉強でもやって損をすることは、絶対はないと今では思う。その専門分野に進まないとしても、自分の知識にしていくことは、とても大切で価値のあるものになると思います。だから後輩達は、ただ出席をとっているだけの講義の受けかたでなく、もっともっと学生のうちに勉強していたほうが、いいよと伝えたいです。社会に出てからも勉強は絶対必要だけど、学生時代の勉強は、もっと大きなものになるような気



- がします。それから、短大時代の友達はいろいろな分野へいっているの、すごくいい友達になっています。
- B101 男 38才：短大時代は、もっとまじめにやっておけば良かったと思います。学生時代に今の資格があったらと思います。
- B102 男 35才：私は学生時代に、将来英語が必要になるとは思っても見ませんでした、E-mail やTV 会議、海外出張等いやという程、語学力を要求されております。若いうちに、習得しておくことを、おすすめします。
- B103 女 27才：私は短大を卒業した者です。その2年間はとてとても学ぶ事が多く、少人数制（生徒）という事もあり、先生方は父親のように優しく、仲間達は皆仲良しで、楽しい思い出が本当に多いです。後輩の皆さんには、こんなに恵まれた環境の学校はないと自覚して頂き、限られた学校生活を楽しく、又勉学に励んでもらいたいなと思います。
- B104 男 28才：私は2度の転職をして、現在は、短大での学修とは関係のない仕事をしていますが、2度目の職場では役に立っていました。今になって思うと資格は取れる時に取っておいたほうが良いと思います。それに短大時代の交友関係は長く続くと思うので、良い交友関係を作っておくのも大切だと思います。
- B105 女 24才：早い人では20才で就職となってしまう、何が起きているのか、何がしたいのか、これでいいのかと悩む人は多いとおもうが、どんな経験をするにしても、無駄になる経験は絶対はないと思うので、リクルート活動するときは、自ら選択の幅をせばめるのではなく、「こういう仕事もあるんだ。知らなかった。」と思えるようになってほしい。「ただ何となく」と時間を過ごすのもいいが、やはりもったいない。あの時の自分は輝いていたと思えるような時間を過ごしてほしい。就職することだけがすべてなのではなく、自分が輝く為の手段の1つが就職なんだと思えるようになってほしい。勉強を頑張るのは、いい会社に入る為ではなく、自分の色々な能力を高める為だということにも気づいてほしい。
- B106 男 27才：努力すれば報われます。頑張ってください。
- B107 男 36才：とにかくこんな時代ですので、自分を信じ、身につけるもの、学べるものはすべて手にしてがんばってください。
- B108 男 26才：今、学校で生活をしている生徒、皆さんの場所なので自分達で良いと思う事を見つけ、楽しんで下さい。校風も、常識も、その時、その場所で出会った仲間から生まれるものだと思います。責任を持つ事の楽しさを知って下さい。そして、新しい自由をつかんで下さい。
- B109 男 33才：＜卒業して14年たって、私が思うこと！！＞1. メカ屋、電気屋、システム屋、すべてをこなすのは無理です。自分のセンス&スタイル、キャラクターを学生のときに見つけるのが必要。2. カタログ・マニュアル（メーカー）を読む（部品・名称等を覚える）3. 技術畑でもバラシて加工して、体でおぼえることが大切。4. 人脈を作る（t e l 一本で問題解決できる場合がある。）5. 短大の時にメーカーの主任クラスの人に講義してもらいたかった。6. 資格は持っているのにこしたことは無いと思う。とっくればよかった～（学生の時が一番のチャンスだと思う）7. 短大はもっと民間企業との技術情報・技術交換等のイベントを持ってもらいたいです。8. 昔から言われていることです。物が作らなくなった国はだめになる。もの作りには技能者・技術者は必ず必ず必要。最後にバブル時期に就職した私ですが、後輩達にアドバイス。自分を好きになる会社を選択した方がよいと思います。
- B110 男 27才：学校へ行き、勉強も大事だと思いますが、それだけでは、仕事は続きません。ぼくも、そうでしたが、何かをしたいと思いが、仕事をしてきましたが、何もみつかりませんでした。しかし、いまの仕事は、今の生活をしていくための手段である。自分のやりたい事をしようと思っても何もできない、夢をもってもできないと思てあきらめていた自分がいましたが、そんな時に、すばらしい、ビジネスにであいました。時間・お金・会社にしばられずに、自分のたった1度の人生をたのしみたいと思っています。みなさんも、たくさんの夢をもってください。そして、それは、ぜったいかないます。自分を信じて、がんばってください。ぼくも、がんばります。夢にむかって！！
- B111 男 30才：助言・論より証拠 職業訓練への意見・実践も重んじるべきだ。経験がなければ、社会にいられない時代です。又、資格をとるべきです。
- B112 女 23才：どんな職場でも仕事をするにしても、PCがなければ（使えなければ）何も出来ない社会になっています。情報処理科を卒業した私にとって短大で学んだだけでは、何も出来ません。自分の努力も必要になります。私はとてもいい時期にPCの勉強が出来た事をうれしくおもっています。学校で学ぶ以上職場で学ぶ事は多くあります。今の学生方に一人でも多く社会に出ていただきたいと思います。
- B113 男 35才：僕の通っていた短大は、あまりにも変わっていて、意見等、特にありませんが専門的知識を身につけて入社してくる皆さんに、企業の方は大きな期待をして迎えてくれることと思います。
- B114 男 26才：①学生時代で学んできたものは基礎。会社にはいったら今までの応用。マニュアル通りに行かない事があるので、それだけは頭の中に入れてほしい。②会社に入ったら、学校で習った事がないのが沢山ある。これがイヤで

- あれば、どこに行っても同じ。③失敗して、くよくよする事がよくある。会社に入って仕事をして、失敗したのはチャレンジした証!!二度と失敗しない方法を考える事!!④「がんばります」「やります」は聞きあきる。「やってみます」だ!!
- B115 女 23才:就職して後悔しない為にも、今(短大)で学べる事は今で取得することが大切だと実際社会に出て感じています。
- B116 女 31才:何でもいいから、その道に関しての専門家になってほしい。技術を極めることは人生において、とても役立つと思うし、自分の自信にもなるという事。
- B117 男 46才:変化の多い時代に対し、学校で習得したことに必ずしも対応する職業に就職出来なくても、長い人生の中で、必ず役立つ場面が来ると思います。その時の為に、在学時には一生懸命学習して下さい。今、思うと、貴重な青春の時間であった様に思います。大切に有効に使って欲しいと思います。
- B118 女 27才:私は、当短大を卒業したことを誇りに想っています。社会人として、働くようになった今、当短大で学んだことが活かされているからです。ただ、資格取得に積極的に取り組まず、培った技術を証明するのがないのがとても残念です。後輩達へ。就職活動にも有利であるし、働くようになってからは、なかなかむずかしいので、在学中に、多くの資格を取ることをおすすめします。
- B119 女 26才:チャンスは与えられるものじゃない。自分のものにするか、生かすか殺すかも自分次第。いつまでも努力を惜しまないこと。「企業を通じて、社会に貢献する」喜びを知ってほしい。
- B120 男 25才:社会に出ると人間関係が大切です。コミュニケーションを取るのが大切ですので頑張ってください。パソコンを使うことが重要になります。資格などを取っておくと大変たすかると思います。(CAD/CAM)三次元など。
- B121 女 21才:建築から電気へと職種は違いますが、図面を書く上で建築図を使用します。その際に建築を学んできたのにぜんぜん分からないことが結構あります。会社でも沢山学べますが、「学校で何を勉強してきたんだ!!」言われたくなかったら、ちゃんと勉強はした方がいいと思いました。あと、卒業後に建築士の資格を受験しましたが、働いていると勉強する時間が無いので、学生時代にできるだけのことばはやった方がいいと思いました。
- B122 女 22才:学生時代にバイトをしていましたが、働くことも学ぶことがあって大切ですが、就職してからは嫌でも働かなくてはいけないので、学生の時の時間が自由になる時にやれることをやった方がいいと今になって思います。短大で学んだことは、今すぐ活かされています。学生に戻ってもう一度習い直したいと思うほどです。学べる時にたくさん学んで下さい。
- B123 男 28才:やった者勝ち
- B124 男 33才:金属機械部品(自動車生産設備、IT生産機械、医療用機器・部品)加工分野の事業所より後輩達へ、色々な分野によって差はあると思いますが、メーカーの国内生産は、まだ減少傾向にあります。海外進出が多く見られます。私が働き初めた13年前は、メーカー及び下請け業者にも新入社員を1から教える様子が見られましたが、現在は見る事が大変少なくなりました。現在新入社員を雇う会社は大変少なく、現従業員の雇用も大変な現状となっている様です。仕事の出来る人への期待は、まだあり、そうでない人への雇用の機会は、増々減ると思います。メーカーや親会社に新しく、又は、既に入社している若い世代の人たちの中に労働条件などの理由で簡単に退社してしまう人も多く見られます。まとめますと、すぐに戦力となる人。自ら経営者側の視点で考え、発想し、行動できる人。が必要とされると思います。あと、古い言い方と言われるかもしれませんが、「手に職」を今一度、考えてほしいと思います。そしてこれから、経営者となる方へ、利益最優先だけでなく、作る側も買う側も魅力のもてる「ものづくり」を考えていってください。
- B125 男 25才:後輩達へ。就職して一番思う事、「学生時代もっとまじめにやっとけば」そう思う事が毎日、働いている中で、ちょっとした事だけれどたくさん出てくる。今、その事を勉強し直そうとしても、自分だけでは理解できない事が多く結局勉強しようと思うだけで、実行にはいたらない。だから、学生時代に吸収できる事は、一つでも多く吸収して社会に出ていってほしいと思う。専門的な先生がいるのだから。
- B126 男 32才:社会は広く複雑で、技術の進歩や展開も早く、今、学んでいる技術だけがすべてとは限らないと思います。仕事で力を発揮するのは技術だけではなく、あらゆる環境に適応して問題を把握し、解決方法を探し、解決する力(技術等)が必要だと思います。今は、いろいろなことに興味を持ちチャレンジすることが、後に役立つような気がします。
- B127 男 24才:思いっきり楽しんで下さい。遊びで学ぶことも多いです。
- B128 女 28才:短大を卒業して、8年になりますが、今思うと、2年という期間は短かったです。やはり技術を身につける為には、何年もかかると思います。私は、8年かかってまだ新人のような存在ですから。最近思う事は、日々の仕事の中で辛いと感じる事があっても、辛いと逃げ出さず、頑張って取りくめば、それは、やがて日常になるんだとい

- う事です。他の人にしてみれば、普通の事なんですけどね。就職しても、転職したとしても、その職場で何かを身につけてゆく事が、職業訓練だと思います。短大はそのきっかけをあたえてくれる場所だと思います。今後また、機会があったら、利用したいと思います。
- B129 男 24才:自分自身が分からないことはほとんど見聞きしていき興味を持ったものには何でもやってみたらいいと思う。私の場合は、基礎知識の学習はできたけど、今現在の技術と比べれば遅れたものを学んでいました。
- B130 男 33才:人間関係が希薄になる中、真のリーダーシップを発揮できる為に、専門分野の育成とともにコミュニケーション能力、即ち深層心理学を学ぶ必要があると思う。また、やる気を引き出す、自己啓発能力は短大では欠けているように思う。相手の立場にたった思いやりのある言動は短大というより社会生活で学ぶものであるが、情けない文人たちにより日本社会がおかしくなっている。後輩の皆さんが新しい日本の産学を支えるべく、人を大切にし、地球と人間とが共存できる社会を心から望みます。私たち先輩もわずかながら頑張っていることをお伝えいただきたい。
- B131 男 22才:目的があって初めて自分がすることが見えてくるので目的をはやく見つけてそのために必要な手段を楽しむことが重要だと思います。
- B132 男 26才:今は、就職することも困難なときなので、学校での勉強に関係する仕事とは言わず、どんな仕事にでも自分がやってみたいとか、頑張ってみたいと思える職業を選んでほしいと思います。短大での職業訓練は、職業生活の中での本当の基礎となっていると思うので、応用とかは、その会社会社によって違うのでしっかりと基礎を身につけてください。後は自分が習得したい資格などは、自分から進んでどんどんと習得していくといいと思います。とりあえず、どんなことにも挑戦していきましょう。いつか自分の為になるはずですよ。
- B133 男 40才:後輩の学生へ、短期間で高度な技能や技術を習得するのは大変ですが、就職後に力を発揮できるように頑張ってください。短大へ、短期間で高度な技能や技術を教えることは大変だと思いますが、企業に必要な人材を育てる為にも、また、企業で戦力となれる人材育成に努力してほしい。卒業生の企業における地位の向上に向けて。
- B134 男 22才:技術力だけ身につけるだけでなく、生き方も学ぶことが大切だと思う。職場でも短大で学ぶことができない技術を十分に身につけることができる。短大で学ぶことが全てでは無いと言う事を認識し、短大生活を送るべき
- B135 男 26才:就職してから学校で勉強をしっかりしておけば良かったと後悔した。教えてもらえるうちに教わった方がいい。
- B136 男 26才:後輩の方々一言だけ。職業の選択は十分に考えてから選ぶこと。自分の勉強してきた内容を生かせるところを選ぶことが重要だと思う。専門的な内容を学べる学校に入ったのだから、有効に生かせる職業を選び頑張してほしい。
- B137 男 31才:勉強も大事だと思いますが、コミュニケーションをとることがうまく出来ない人が、最近多くなったような気がします。これは、働く上で大変マイナスです。ゲームやコンピューターばかりせず、人と接して欲しいです。
- B138 男 36才:学生生活を充分楽しめれば良いと思うが、学業を第一に考え生活してもらいたい。学生時代は専門分野の授業などは、ここまで必要でないとか自分の進むべき道に関係ないだろうと思うかもしれないが、実際に社会に出た時、決して邪魔になるものではなく、習って良かったと思う時があるし、必ず役立つので、一生懸命勉強してもらいたい。
- B139 女 26才:短大時代はあまり勉強する事はなく、とりあえず課題提出すれば良いか〜って何げない日々を過ごしてきました。年を重ねると共に(就職)短大時代にもっと真剣に課題にとりくめば良かったと後悔することが多々あります。もう一度短大に行きたいなあ〜と思います。みなさんも私のようにならない様に、今を一生懸命に勉強して、色々な事を吸収して下さい。将来必ず役立ちますよ。
- B140 女 22才:短大で勉強中のみなさん、今短大で学んでいる事は、社会へ出て必ず役に立ちます。それが自分の武器になります。今を大切に過ごしてください。
- B141 女 28才:社会人になるのに全く心構えができず、学生気分が抜けないまま入社してくる後輩を見ていると、とても恥ずかしい。
- B142 男 27才:自分の就職したいところに就職することが大事だと思う。先生の推薦する会社を選択しないこと。一般教養など余り必要なく、専門的なことを教育する。実践的な実習の講習時間を増やす。
- B143 男 23才:実習等の授業は、就職しても仕事に生かせるので大事にして下さい。
- B144 女 26才:社会人になると、様々な人と接することが多くなります。必ずしも気の合う人ばかりでなく、時々ま気の合わない人と一緒に仕事をすることもあります。そういった場でも逃げることなく仕事をこなすことは大切だと思います。たとえ気の合わない人と思っても、少しでも自分自身が居心地が良いと思えるように、自分でその人との関係を良くするためにコミュニケーションを取る様に心がける。こんな訓練を日頃していく様になっていると、社会人になっても、仕事のストレスが少しは軽減されると思います。たとえ自分が会社を興して生活すると言っても、結局お客さんが

いないと会社としては成り立ちません。他人とのコミュニケーションは、一生ついてまわるものだと思います。気の合う人だけで集まるのも楽しいですが、何かのきっかけで、話しをしたことのない人と仲良くなり、思いの外気があったり尊敬できる人だったり、話しをしてみないとその人は見えません。(もちろん自分自身を出すことも大切だと思います。) 社会人になるとなかなか新しい人との繋がりはできにくいものです。できれば学生時代に一生の友を見つけ、お互いに人間として良い方校へ成長してください。仕事のグチが言えるのは、最後は友達になってしまいます。自分自身が素直に居られる場所は一つは持っていないと辛いです。様々なストレスを抱えるのは仕方ありません。しかし、このストレスを溜め込まず、自分が楽になるように、自分が動き、周囲を変える。とにかく、人の所為にしても状況は変わりません。自ら考え方を変えて行動する。きつと、そういう行き方が常にできれば、もっと明るく生きる事ができるのではないかと思います。

B145 女 21才：後輩達への助言としては、今勉強している分野で就職を考えているなら、今きつと勉強しておいた方が良いと思う。就職後、あの時きつと勉強しておけば良かったと後悔すると思うので。短大では、英語も習ったのですが、高校で習った時よりも簡単だったので、もう少しレベルを上げたほうが良いと思います。サークル活動が何も無く、ただ学校に行っただけだったので、スポーツをするサークルだとか、仲間を楽しむことのできるようなサークルができればと思いました。化学科だったのですが、2年では勉強しきれないと思います。

B146 男 28才：自分の夢を持ってください。そして、2・3年後の具体的なビジョンを持ってください。それに向かつて今の時間を過ごしてください。「そんなこと言われなくてもちゃんと自分はやっている!!」と言う人は立派だと思います。中には「特に何もないなあ〜」と思っている学生の方もいると思います。私もそうでした。私は、流れに流されて今の仕事に就職した気がして、今回今までを振り返ってみると、仕事に『大変満足』ではなく、『まあ満足』のレベルにあるのは、学生時代にしっかりと夢とビジョンが無かったからと反省しています。皆さんが、同じ誤りを繰り返さない事を願っています。あと、友人と沢山遊んで、思い出も作ってください。私の場合は、就職してからも学生時代の友人達と、時々会っては、遊んだり、悩みを相談して、心強い大切な友人達となっています。

B147 女 22才：まだたまた就職難だと思います。焦って就職活動をする事なくプーのまま卒業しても、おちつく先が次第に見えてくると思います。事実私もそうでした。アルバイト等学生中に人脈をつくっておくことも大事です。ゆっくりとゆっくりとがんばって下さい。

B148 男 25才：それぞれの専門分野において学ぶ事は様々ですが、短大に在学中にしっかりと学習して、就職後にも生かせる様頑張ってください。

B149 男 29才：在学中にしっかりと専門技術を身につけ、その生かせる社会を目指して欲しい。たとえ壁にあたっても、乗り越えて頑張る欲しい。社会はそんなに甘くない。この学校の技術や専門課程は、どこにも負けていないと思います。現在は、在学中に学んだ事は生かしてないが、時々是在学中の事も思い出します。素晴らしい学校だと思うので、在学学生は夢を持って頑張ってください。

B150 女 22才：就職をする時には、自分がその会社で何をやりたいのか。どんな事がやりたいからその会社に就職したいのか。という基本的な事がないと、続いていかないと思います。『人生で働き続けるためのたった一つの会社』と考えるより、『自分がスキルアップするために必要な事を勉強するための会社』という視点で見ると、客観視できるかもしれません。

B151 男 22才：後輩へ、学生の中に「自分は何をしたいのか」という事をできるだけ考えたうえで、生活するといいいと思います。

B152 女 23才：デザイン科はなくなりましたが、ここで学んだ事は、少しでもプラスになる事ばかりでした。感性を磨いたり、分からない事があれば先生方が教えてくださいました。社会に出て初めて分るのですが、学ぶという機会は、一生の中で本当に短い間です。知識を得るために、限られた時間ですが、多くのものを吸収できたらいいと思います。学んだ事が本当に生かされると思うのは、社会に出てからだだと思います。一般的な知識、又、マナーのような事も知っておくと良いと思います。いつまでも学生気分が抜けられないような社会人にはならないように、ある程度の常識を持って、社会に出ていくことをお勧めします。

B153 男 32才：現在、企業において『能力主義・成果主義』ということがよく言われます。与えられた仕事に対して、何かプラスαの付加価値を就けてoutputする取組み姿勢が必要と思われる。その為には、勉強できる環境にある時に多様な知識、資格を身に付ける事が重要であると思います。最終的には“人と人のつながり”で仕事を行うので「コミュニケーション能力」も大切であると自分は思います。是非、自分の目標に向かって頑張ってください。

B154 男 26才：入社して、短大で学んだことの10%も活用できない状況でしたが、色々な経験をしていくうちに、短大で学んだ事がヒントになって、問題を解決できたりする事がありました。短大にいた頃には必要ないと考えていた事柄

- でも、後に必ず必要とする時があると思うので、何事にも頑張ってください。
- B155 男 30才：学生時代には、卒業後のことなど殆ど考えず、その場だけやり過ごしてきた感があり、そのことは、今ではもったいないと思っています。技術や施設なんて時代が進めばあっという間に使えなくなってしまうものもあるけれど、先のことを想像できれば、どんな職につくか、自分に足りない能力や今後必要になる能力を選び、磨く事ができる。仕事をしだしてから勉強することが多かったけれど、それを学生時代にできていたら有効な学生時代だったといえると思うけど、まあそう都合よくはいかないですよ。
- B156 男 22才：私にとって短大での思いでは大切なものです。当時を思い返せば辛かった様に思いましたが、社会に出た今の方が余程大変だという事を日々感じています。周りの流れに流されて業務内容も理解できないまま内定が決まってしまったという今一つ自分でも満足がいかないまま就職し、現在も転職を頭に入れて日々過ごしています。色々な人の話を聞いても、自分の中にやりたい事を見つけてそれに向かってまっすぐ頑張っていけば必ず報われるんだと感じました。現在在学中の方は就職難で大変だと思いますが、誰にも負けない強い意思を自分の中に持っていれば、社会に出てもやって行けると思いますし、友人や先生方も力になってくれると思います。日々楽しんでがんばっていただければと思います。
- B157 女 27才：私が在学していた時、2回生として卒業するまでが丁度機器のリース期限でした。5年リースと伺いましたが、5年経てば情報機器は大きく変わると思います。実際、私達までは、ホスト+端末で汎用機言語メインでしたが、翌年からはWin機に入れ替わり、パソコン言語が増えたのではなかったかと思えます。私個人としては、もうプログラマ職に戻る気は少ないのですが、今となっては戻りたくても受け口が少ないのではないかと考えています。(cobolも無くなってきていますし) 偶々ホスト(汎用)→パソコンへの過渡期にあったせいもありますが、変化の早い情報系でありながら、世間での変化に対応しきれない設備・カリキュラムだったと感じます。今はもうそんな事はないかもしれませんが…転職の際、退職のご挨拶に先生を訪ねた時に、別の就職先を快くご紹介いただいた事は大変嬉しく、助かりました。卒業した後もできるだけ先生方と繋がりを持てる様にする事を、後輩の方たちにはお勧めします。
- B158 男 30才：高校教育と社会人との職業訓練を考えると、もう少し社会の厳しさを学生に与えた方が良いと思います。4大卒の同期と同じスターとラインに立つので、どの様にすれば社会で必要とされる社員になるか、もっと教えた方が良いと思います。後輩には、社会はやる気のある人間を欲しがっています。常に向上心を持って物事を考えて欲しい。
- B159 男 36才：現在の社会環境は、極めて複雑なように見えてすごく単純である。勝者と敗者のどちらかなのである。自分に能力があっても、発揮できない者もいれば、なんの力もない者が生き残っているという現状もある。幸い私は短大時代、専門的教育以外の最も大切な事を友人や先輩先生方から学んだと思う。その事が大変よかったと最近気がつき始めた。学校で教わる事等ほんの少力で、後は人間関係なのである。社会で成功する一つの要因である事に間違いはない。後輩達よ、勝者になる為に大いに学び、遊び、時間を沢山使用し、頑張ってください。
- B160 男 29才：学校からコンビニが遠かった。仕事等の知識に関しては、社会に出てから学ぶ事になると思われます。学生時代の知識とは離れた仕事となることが多い。学生時代だからできる事をして下さい。
- B161 男 32才：2年間という短い時間では全てを学びきれない。実社会で何が必要とされているか、それを考えねば。先生方と会話(対話)するなど、授業以外の知識を幅広く身につけて欲しい。今だからよく分る事なのだが…
- B162 男 23才：カリキュラムがみっちりで、毎日がとても忙しい日々であった。短大とは思えぬほどの単位を取得した。授業には真剣に取り組んでいた。しかし、「短大で何を学んできた？」と質問されると、スラスラと答える事ができない。驚くほどその内容を忘れてしまっている。恐らくは、単位を取得する為のペーパーテストの勉強(一夜漬け的)が中心の勉強をしてしまっていたのであろう。とても後悔しています。少しでも疑問を感じたことがあれば、先生方を困らせるくらいに質問してください。会社・企業に入ってからでは、立場上聞きにくくなります。(理解しているものと判断されます。)有意義な2年間にして下さい。
- B163 男 22才：仕事を始めてから初めて勉強の大事さが分ります。2年間大学で遊んで仕事を始めてから苦勞するより、2年間頑張って楽に仕事の方が良いと思う。

### C： 短大校への要望（短大校側でこの点を考えていただきたい。）

- C1 女 33才：県内にデザイン科の学校ができ、母校の科がなくなったのが残念である。
- C2 男 36才：職訓短大卒業生で現在失業中の方を対象にした再就職に向けて訓練を開催して欲しい(ハローワークの訓練とは別に、高度かつ親身にやって欲しい。)
- C3 女 29才：全国的にデザイン科がなくなってしまったのが非常に残念です。「民間でできることは民間に任せる」と

というのが大きな理由だと聞きましたが、デザイン専門学校といわれる所は 学費も高く、通過させ、就職させることのみが目的の所ばかりです。「働くこと、手に職をつけるということ」を真剣に考えることを学ぶことができた「職業能力開発短大」とは その姿勢が違います。社会に出る前の段階とはいへ、そのことを学ぶことができた「職短」は私にとって大きな財産となりました。

経済的な理由で、高額の学費を必要とする 大学のデザイン科やデザイン専門学校に通えない人はたくさんいると思います。そういった人たちにとって、「職短」が重要な支えとなるだろうと思っていた矢先のデザイン科廃止でした。失望の感を拭えません。

C4 男 22才：職業能力大学にデザイン科があれば編入をしたかった。短大では幅広く学ぶことができたが、もっと深く勉強したかった。デザインの就職には、経験者の募集が主だが、それに同等なくらいの学習、及び資格の必要性が感じられる

C5 男 35才：短大時代の学習は理論優先であり、何がどのように会社で役立っているのかいまいち理解できませんでした。教官も学卒でなられた方が多く、実際の現場の状況や様子を肌で感じることも無く、なんとなく卒業した感じがあります。今になって振り返ってみると、学生時代もう少し社会人の人々たちと接する機会があっても良かったと思うし。卒業後も学生時代なんとなく、やっていた実験 実習が実際の現場での応用方法を見てもう1回基礎実験をやってみたいと思うときもありました。うちの学校が他の専門学校との差別化を図るなら、現場との連携を密にして、在校生がより目的意識をもち、理論のみでなくもっと自由な発想で仕事に対してイメージできるような環境作りを目指したらどうでしょうか、そして中小企業などは、資金上の問題でなかなか、最新の機材を導入することができません。学校にある機材を試作、実験に提供してはどうでしょう。

C6 男 36才：生産機械を専攻し就職しましたが、現在企業では一般的な技術者として機械に対する専門知識と電気制御に対する専門知識の両方を求めています。生産技術、保全設計等は特に両方を求められ就職後 電気制御に非常に苦労しました。訓練校としては生徒の入学時将来の明確なビジョンを明らかにし、それについての教育システムの細々した対応がより必要であると思います。多くの企業が訓練校の生徒を期待しています。頑張ってください。

C7 男 40才：職場での教育が企業の体力の悪さから、特に時間を掛けられなくなっている現状でより質の高い実践教育とその現場に対応できる人柄が要求されています。理論と実践を表現できる人材、臨機応変に順応できる人材の育成をお願いいたします。

C8 男 37才：学生自身は、どうしても甘い考えであり、実際の希望と現実との差は、はかりしれないものがある。実社会は本当に大変なので、今しかないときを大事に生活してもらいたいとおもう。学校の方での今の時代、同業種・同職種等のヒューマンネットワークを構築してもらいたいと思う。私も同窓会の役員等を経験させていただいたが、何かしらの思いもあった。ただ卒業してからも上手く付き合いたい(学校と)し、やはり仕事に結びつくようなものが一番ベストだと思います。確かにそれがむずかしいのだが、情報提供・セミナー等でのコミュニケーションなど今後の活動は面白くなると思う。意外と私以外にも熱い思いを持ったものは居るみたいです。今後の活動に期待します

C9 女 29才：短大時代の経験がとても大切なものだったと感じています。学生時代、もっといろいろと学ぶことができたはずだと思い、少し後悔しています。後輩にはこんなにもたくさん学ぶことができる学校は数少ないと思うので、悔いの無いように楽しく、充実した日々を過ごしていただきたいと思います。学校へは、本当なのか分からないのですが、職業訓練校の縮小の噂を聞きました。こんなに実務的で多くのことを学べる学校は本当に少ないと思います。もっと多くの人たちが学べるようにしていただきたいです。よろしく願います。

C10 女 29才：とても楽しい学生時代を過ごせたと思います(今から思う)。今は、学生時からの目標だった庭や公園の設計を勉強しています。当時はこういった分野は院生くらいしか進めなかったの。そういった意味では、卒業後もワークショップ等があるといいなと思います。

C11 男 39才：自分の将来を考え、目的を持って勉強して欲しい。専門的な科目を充実させ、即戦力の人材を育てて欲しい。

C12 男 38才：基本基礎を重視し、トレーニングを行うことが大切です。後は何とかあります。

C13 男 30才：短大時代にもう少し資格が取れるチャンスがあれば良いと思う。

C14 28才：自分が大学で思っていたことは、普通高校卒業者と工業高校卒業者では、スタート地点が違って難しかった。

C15 女 24才：大学で学びたかったです。もう少し早くうちの短大が大学校になっていたら・・・

C16 男 29才：企業に就職した場合、その多くでは4年制大学と短大での差はあるわけで、賃金体系や昇進昇格のスピードはどうしようもない。しかしそれは自分の努力(資格等)でなんとかなる部分もある。ならない部分もある。短大卒

- 業→就職というのは、4大卒業→就職よりも一歩出遅れているのかな、と今になって思います。4年分の勉強を2年で、というのはまず無理な話なわけで、短大なら短大なりのあり方があるのでは。
- C17 女 26才：実験が多く、レポートの書き方が学べたが、社会に出たらプレゼンがあるので、その方法も学んでいたら社会に出て、役に立つと思います。
- C18 男 28才：短大側でもっと資格取得の時間を作ると良いと思う。
- C19 男 26才：短大での専門課程は、仕事を始めるために当たってのほんの触り程度でしかありません。私は住居環境科を卒業し、市役所建築課というところで仕事をしていますが、学校の中で習ったのはほとんどといっていいほど役に立っていません。職場においてから学ぶことのほうが多くありました。学校にて学ぶことは基本中の基本として、それを応用する個人で創造していくような授業を望みます。
- C20 男 23才：最近、同世代の人間の自己主張の無さに驚きます。十数年、受動的な教育を受けた人間が社会に出たとき、自分の考えを表現することは簡単なことではないはずですが。主張が強すぎるのも、問題ですが、社会に出る前に最低限の自己主張能力やプレゼン能力を身に付けるべきと考えます。
- C21 女 24才：どこの学校でもそうですが、一度就職して社会人と学生の違いを実感してから学校に行ったほうが皆真剣に取り組むと思います。
- C22 男 32才：短大卒扱いされていないのが不満である。もっと広く短大のメリットを！
- C23 男 28才：この学校に入って、高度な技術教育、すばらしい設備には、その他の学校には無い物だらけで、とても充実した学校に入ってよかったと思います。しかし、自分は就職して、ある程度の仕事に就いてある程度の技術力や教え方、考え方を学校で今まで学んだことを発揮し、そして周りから少しずつではありますが、認められています。一部の学生時代の同期の中では昔の訓練校の出身かと企業ではそのような受け取り方があって、いわゆる3kという職場へと行くようなことがあると聞きます。せつかくの最先端の技術を学んだのだから企業も少しは理解してもらい、互いに技術教育や技術交流が必要とだと思います。
- C24 男 22才：就職してから特に感じたのですが、専門科目の学習や実習が不足している分逆に一般教養科目の学習が無駄に多いと思われれます。私の高校で修得できなかった部分を補うために短大の生産技術科に入りましたが、すでに学習していた分野はあまり進展がありませんでした。歴史等を学習する時間があるなら、機械組み立てや加工といった実習の時間に当てて欲しかったです。これから生産技術科に入る生徒には物を作るという楽しさを教えてあげてください。
- C25 男 38才：もうやっているかもしれないけど、今やパソコンを使いこなせてあたりまえのような時代。一般教養にパソコン講習の時間を設ければいいと思う。私の時代はパソコンを使用することは考えもしなかった頃で、今になって苦労しています。そこをよろしく。
- C26 男 37才：就職時に資格があると有利なので、資格に合格するようなカリキュラムにしたほうが良い。
- C27 男 31才：いつもお世話になっております。短大卒業後、能力開発総合大学校に編入し、現在、県立の職業能力開発施設で職業訓練指導員をさせていただいており、短大で教わった専門的知識をいかせる職に就き大変満足しております。しかし、ただ1つ意見を述べさせていただきますと、短大を卒業したら、準学士の資格をいただけたら、もっとこの職業能力開発は発展したものになるのではないかと思います。私自身は、それが無いから困ったという経験は無いのですが、資格取得などで分野によっては、実務経験年数が短縮される等といった特典もあります。文部科学省との兼ね合いから無理なのかもしれませんが、職業能力開発総合大学校は認定されているわけですから、できないことも無いのではと思います。ぜひ、実現させていただきたく、よろしく申し上げます。
- C28 女 28才：仕事を始めてからの方が、セミナー等利用したい気持ちになりました。より、技術力をつけるために卒業生にも勉強できる機会を増やしてください。
- C29 男 35才：現在の講義はどうか分からないが、教科書のみで専門のことを修得するのは就職してもほとんど役に立たず、用語を言われたときに「そういえば習った」程度でしか頭に入っていない。実際の物事をビデオ等を多く利用したもので、こういう職種に就けば、こんな業務内容なんだと、気づかせる講義をした方が、自分の将来像がはっきり確認できるのでは？と考える。現状では不況ということもあり、即戦力になる人材を求める会社が増えてくると思う。その為にも会社の実習期間を長く取って社会に出ればこれだけ要求されるということを実感させた方が就職しても苦労しないと思う。そして、会社からの「ウケ」も良いと思う。
- C30 男 37才：ここ数年の就職難で短大学生も大変かと思えます。企業では即戦力を求める傾向が増々強くなると思います。高度な理論を学習するのも結構ですが、企業が望んでいることと違っていては意味がなくなってしまいます。どのような技術力が望まれているのか、企業側とのコミュニケーションを図り必要とされる人材を提供していただく

- い。
- C31 男 38 才：私が学んでいた短大で生産機械科があつて、もの造りの原点、現場的知識を学んでいました。機械設計製図からその製図を見て加工する機種に変わったのですが、もの造りの基本となる考えは、今後も大事に教えていただきたいと思います。
- C32 女 33 才：卒業校の先生方のところへ仕事や勉強で分からない事があると、卒業後もかけこんで、みていただいていたのですが、“科”が無くなり。先生方も県外へいってしまわれて、とても残念に思っています。
- C33 男 25 才：現在、とりあえず自動車のラインで働いているが、短大で学んだ技術を生かせていない。短大で学んだ技術を生かせるような職に就くためスキルアップをしたいが、セミナー情報が得られない
- C34 男 23 才：自分に対して、もっとしっかり短大で勉強しておけばよかったと思ってるから、納得してないので、後輩の人たちは悔いの無いように勉強してください。(また学生に戻りたい) 労働省の学校なのであまり認知されていないのが嫌です。あと短大なんですけど、一般的に短大卒で履歴書とかは書けるんですかー？生産技術とかなんですけど、高卒には何をするかイマイチ分からなくて、もっと入学する前にいろいろ教えてもらいたかったです。もっと現場に入り込む授業をしてほしかったー。
- C35 男 34 才：一般教養もある程度必要だと思うが、もっと専門的分野技術に関する理論、実技、応用に重点をおいた教育をしてほしい。特に応用力に力をつけてほしい。
- C36 女 23 才：職業訓練校で学んだことを生かせる職業に就くことが最大の目的だと思います。しかし、実現問題、先生方のパイプも無く就職についての相談口がどこにもありませんでした。実践的な勉強をしましたが、仕事につかないと意味がありません。もっと学校と企業が密接とした関係を持った方がいいのではないのでしょうか。先生方も理論的、専門的な生徒のなりたい仕事についてもっと具体的に教える、また助言をしていながら、仕事を探すことが訓練校の姿ではないのでしょうか。理論的専門的内容はその仕事についてある程度経験した方などを対象に行ったら良いと思います。
- C37 女 35 才：一般教養というか、特に英語に関しては、就職後自分の専門知識に関する英語に接する機会が多かった。また英語圏の取引先が企業としてはあるはずなので、英会話も重要だと思う。
- C38 女 24 才：短大での勉強はもちろん大切で、手を抜いてはいけなけれども、がんじがらめになり、遊ぶことが出来ない状態はよくないと思う。友人とおしゃべりや息抜きも必要。短大では、サークルが無かったけれども、先生を含む校外でのコミュニケーション？(バーベキューやキャンプなど)があつてよかった。・・・が当時の先生方がみんな他の学校へ行ったりやめてしまう状況でとても残念だった。
- C39 女 26 才：私は住居環境科に所属していたのですが、就業中に役立ったと思つたのは短大での CAD の実習です。現場で主に使用されている CAD の使用経験があつたので実務でも役立ちました。ただ、もっと CAD の実習時間が豊富にあつた方が良かったと思います。(実務では CAD が主流なのに対して短大では手描きが主流だったので)
- C40 男 21 才：短大生として2年間楽しく学習し、友人もでき大変意義ある2年間でした。不況のせいもあるかもしれないが、就職が出来ない人もおり心残りであった。全員が100%就職出来るようもっと企業にPRをした方がよいと思います。
- C41 男 21 才：私は、まだ学生のため今回のアンケートにはあまりお答えする事が出来ませんでしたが、短期大学校の時のことをふりかえって思う事は、専門科目や実験実習に関しては、とても充実していたと思いますが、アンケートにもあつたようにプレゼンなどといった自分の成果を相手に発表するといった機会があまり無かつたように思うので、そういった発表をする機会をもっと設けてもいいんじゃないかと思つています。あと後輩への助言として、言わせてもらうなら短大での2年間というのはとても短いのではやく自分のやりたいことを見つけて取り組んでください。
- C42 男 23 才：短大時代には専門実習・授業が充実しておりカラキュラムの内容には大変満足しております。しかし、教員の方の中で、一部専門知識があまり無く、むしろ、全く別な専門教員の方が向いている人がいました。たとえば、労働衛生の授業で→あまり関係の無い生物学の授業と学科にふさわしく、または関連の無い授業をよくしていました。この教員の方は定年間近で出向のため、とりあえず、うちの学科にきたような感じがしました。教員の配属するに当たってもう少し学科にあつた方を選んでほしいという気持ちが在学中にありました。
- C43 男 35 才：短大での学習は、ほんの触り部分でしかありません。本当に必要な知識は、会社に入ってから身に付けてきます
- C44 男 35 才：短大での学習内容、高卒者の進学率、社会状況を考えると短大の必要性は無いと思う。企業側として、戦力になる人材は個人によるものであり、短大でのカリキュラムでは戦力になりえない。大学は本来の研究教育機関の役割を取り戻す時期にきているのではないか？(経営学はともかく、技術系の知識は、会社に入った後でも十分教育でき



- るし出来ない人材は不用)
- C45 男 28 才：今はどうか分かりませんが、当時会社に入って思ったことは、最先端技術の修得と言いながらも、一般的な会社よりも一歩遅れたことを学んでいたような感じがあった。
- C46 女 31 才：学生には在学中に資格取得を進めてみてはどうか・・・(私は在学中に資格取得したものが無かった・・・)
- C47 男 27 才：他の卒業生がどんな仕事をされているのか、現在は交流が無いので知りたい気がある。また、短大にて違う知識を身に付けるため利用したいと思っている。
- C48 男 34 才：時代は変わり、機械も自動化やコンピューター化しておりますが、基本は手動のものや人が手を汚して行うことがもととなって今日に発展しているわけであって、専門的なことや最新のことを学ぶことも重要だと思いますが、基礎的なこと、たとえば、機械科であればハンマーの振りや、手動の施盤の使い方などの本当の基礎、時に実技で体で覚えることが重要だと思うのですが。仕事をするようになってつくづくそう感じます。
- C49 男 37 才：私の就職後も卒業生7~8人入社してきますが、最近は自主性にかけるものが多く感じます。専門知識も多少必要ですが、人間性や応用力、自主性が築けるような教育をして下さい
- C50 男 40 才：文部省系の大学に無い特色をもっと生かすべき。
- C51 男 33 才：就職後に大学等の教育機関でさらに勉強しようと思っても学校教育法の問題により一般大学への編入が事実上不可能となっており、この事が今後自己能力を高める上のネックになっております。大学1年からやり直さねばならないようでは、社会復帰も遅れますし、第一短大時代の2年は一体なんだったのかということになります。学校教育法などのカベは我々のような一般市民にとって見れば旧労働省と旧文部省のなわばり争い以上の何者でもなく、そういう意味不明の規制は廃止していただきたいと考えます。以上
- C52 男 32 才：科目、教科の必要性について、生徒に十分に認識させて、やる気を起こさせることが必用。学習内容自体は将来に役に立つものが多いため、これに十分な時間を削ぐべき。情報処理は技術が広範囲となっているため、特種性と専門性を高める必要があるかもしれない
- C53 女 31 才：私たち、同じ職訓短大より4名入社しましたが、皆立派に仕事を続け活躍しています。専門系の短大生はめずらしい、大学卒でも高校卒でもないのが初めは、どちらつかずで戸惑いもありましたが、仕事をするにつれてそれは不安もなくなりました。在学中職業や仕事の種類などに関することには全く関心も無かったし情報も入ってこなかったように思います。電機業界1つにしても多様な職業が存在します。自分にあった仕事と社会に出てから見つけるのではなく、学生のうちからいろいろと経験や知識があったらまた違う道があったような気がします。漠然と勉強するよりも夢に向かって進むことこそ専門の技術を身につける一番の近道だと思います。
- C54 男 34 才：2年間という短期間なので一般教育科目の時間ももったいなく、専門科目を行えばよい。社会人枠で入学したが、学校内で同じ社会人枠の人たちとの交流の場が無く、他職種の交換を行ないたかった。
- C55 女 24 才：入社後、他の専門学校卒の人に比べて知識・技術が劣っている点が多かった。もうすこし プログラミング力(C,VB)をつけたり、(Access)を使いこなせるようになってくると良いと思う
- C56 男 29 才：情報処理2種取得の為に勉強をしたのだと卒業後、数年してから気付きました。卒業してすぐに受験すれば100%合格できたのに今では合格の見通しがありません。今現在授業を受けている生徒に受験することを強く勧めてください。それと、情報システム部門に配属された場合は上級システムアドミニストレータを取得できる知識が必要となりますし、そのような勉強が出来るとすばらしいと思います。(期間的に難しいですが) ※学校が少し暗かったような気がします。サークル等がもっと活発ならイメージが良くなるとおもいます。
- C57 男 27 才：能力開発セミナーを平日では、17時以降、土日も行ってもらいたい。
- C58 男 38 才：1. プラス思考の人間を育成してほしい。2. 応用の利く人間を育ててください。3. 管理を学ばせると、技術、生産、品質ですぐ役立つのでは？
- C59 男 27 才：現状、担当している業務は卒業学科の専門性として一致していないせいもある為か、リーダーシップ・説得力・問題解決等の能力を必要とする事が多い。一般の社会では、コンサルティング会社等で講習が開催されているが、資格や専門知識はもちろんであるが、これら能力も大きな武器になると言えますので、ひとつの職業訓練のエッセンスとして捕らえても、良いものと考えます。
- C60 女 26 才：私事ですが、就職後の資格試験受験の際に「受験資格」などで、引っかけり、受験するまでに多少時間を要するものがありました。それだけ、チャレンジする回数が少なくなるので、在学中は多方面の学習を自分でしておけばよかった・・・と思っています。学生のうちに取得できるものは学生のうちに・・・。就職後の評価も変わってきます。職能短大には他の短大と違い、社会では「短大卒」として認めてもらえないときがあります。認めてもらえるような・・・講義内容を学校側に検討していただければ・・・と考えます。上手く文章で表現できなくて申し訳ありません

- ん。
- C61 男 31才:自分は2年間しか学校にいてなかったのもっと専門的な学習を深く突っ込んでしたかったと思う。正直2年間という期間は短かったと思う。
- C62 男 24才:2年間で基本的な分野から応用までやるのは難しいと思いますが、職について応用のきかない人はまずついていけないと感じました。今後学校側がどのようにするかは分かりませんが、実践技術者の育成を期待しております。
- C63 男 32才:グラフィックデザイン業界は、DTPが主流になっていますが、アナログ的な技術や考え方も大切なので、バランス良く学習することが必要。
- C64 男 21才:学生時代は、勉強していませんでした。社会に出て、勉強していればよかったと後悔しました。学校の授業の中に、資格をとるための授業を取り入れてほしい。
- C65 男 27才:専門技術分野にこれからも力を入れ、資格等たくさん選びながら取れる環境を作ってほしい。
- C66 男 27才:今、振り返ってみれば、就職訓練の設備内容など充実していたなと思います。それだけにもう少し真剣に授業を受けていれば良かったと思います。また、資格なども沢山とっておけば良かったと思います。
- C67 男 28才:学生時代はどのような職業についていいか、かなり迷っていました。高校卒業後も、まだ決められないという理由で短大に入りました。今、思えば職業コンサル的な活動が積極的に行なわれていればと思います。たまたま入った今の会社に満足しているだけのこと。初年度に入りたい会社。身につけたい特殊能力を明確にして、この分野に関しては、得意分野になるまで教育、指導するのも良いのでは。例えば、アドミニストレーター、CAD建設→autoCAD JwCAD等
- C68 男 23才:大学校の内容、設備はかなり充実していると思う。単位取得に対してもっと厳しくしてほしい。欠席日数が多くても結局卒業できてしまうのはどうかと思う。団体実習が多いので個人が欠席すると皆が迷惑するし、志気にも影響する。一般的な「大学」と異なるのは承知だが、もっとサークル活動などを充実させた方がいいと思う。多くの人と接すると考え方や視野が広くなると思う。
- C69 男 28才:講師によって教える内容が定まっていないので、授業の質が講師の能力に左右されがちである。もっと明確なマニュアルがあったほうが生徒の側も混乱しなくなるのでは。
- C70 女 31才:卒業後も何かと学べる場として利用させていただけるとありがたいです。
- C71 男 27才:基礎が一番重要ですが、即戦力になれるような学習を教えてください。
- C72 男 27才:他の技術系の学校に比べて、手にとって学べる所が多かったのが今の社会の生活で役立っている。現在、私は、他の人が上から、あるいは前任者から教えられた通りにしか仕事できないときでも自分で考え、学び、仕事に役立っている。これは短大時代の自らの学ぶという方針が役立っていると思う。今後も学生が何かに目標を身に付け、それに向かって学び、実行できる力をつけてほしいと思う。その目標やあるいは知識、技能面を見つけたり手助けする立場に学校側は大きな力になってほしいと思う。そして卒業生は社会経験を学校、学生に寄与し、学校側は逆に資格訓練や教育訓練の補助をしてほしいと思う
- C73 男 23才:生徒は高校を卒業してすぐに短大に入ってくる人が多いと思うが、今考えると自分を含め学習意欲が薄い生徒が多い。短大は2年間しかないで、入学時から就職までのストーリーなどを生徒自身に考えさせる必要があるのでは?遊びも大切だが、遊びだけで、2年間が終わってしまう人も何人か見ているので、まず第一に学習意欲を高めさせるべきだと考えます
- C74 女 23才:1つの学校にもっと科を増やすべき。勉強したいと思う人や、資格を取りたいと思う人たちにもっと選択の自由があってもいいはず。なのに私が卒業した後、科が減らされてしまったことには納得いかない。どんな理由があるにせよ、職業訓練の場はこの時代、あってしかるべきもの。科を増やすべきです。
- C75 男 33才:専門性を高める学習というのは、非常に重要な項目であると同時にその身に付けた知識をそう生かすかというのも重要であると感じます。個人の努力とってしまえば簡単なのですが、学生時代にこのようなプログラムなどを組み込み、ある程度の“慣れ”をつければどの職種、業種でも対応できるのではないかと感じます。
- C76 男 33才:コンピューターによる業務はチップメーカーやソフトメーカーによって、短い期間で変わり続ける。運用面、コスト面、メンテナンス性をバランス良く業務に活用し、アドバイスできるスキルは重要だと思います。専門的なスキルをあまり必要としないソフト、ハードの開発・普及でマルチに仕事をこなせる人材が仕事を続けられる可能性が高くなる。アメリカやヨーロッパとは違い日本は年功序列制度が圧倒的に占めるので、どんなに能力を發揮しても逆に自分には不利になることもある。自分が先輩になって後輩にアドバイスや指導ができる人材になることを考えていく必要があると思う。収支の採算を考えた業務を考えた社員が会社を支えることになる。時代のテクノロジーに振り回されれないオートメーション化か採算性の良いパート人材がギギリりの所で運営している時代だと思う。中国に負けない産業・

- 人材をキープできるように頑張してほしい。
- C77 男 29 才：仕事の内容をよく理解し、実践することを会社は求めてきます。技能・技術を身につけることは大切ですが、社内・社外の人と話をできるコミュニケーション能力はとても大切です。大企業より、中小企業の方が特に求められるように思います。ISOによる標準化等は取得してもそれが本当に効率的であるのか？現実で仕方なくそれに基づいて仕事をしているのか？疑問に思ったことを言える発言力はとても重要です。個人それぞれの性格等もありますが、コミュニケーションの説得力を身につけるカリキュラムを充実させる必要性を感じます。
- C78 男 28 才：現在、仕事で母校へ定期的に訪問していますが、学生達に「気力」みたいなものが感じられません。最近の若者によく見受けられる事かも知れませんが、短大へ入学し、生活し、卒業していく過程の中で、学生達に、なにか人生の「きっかけ」を見付け、転機になる様がんばって欲しいと思います。これは本人の気持ちのもち方次第かも知れませんが、先生方も、工夫をこらし、生徒が関心を持ち、情熱を燃やせる様な授業をもっと、もっと、考えて頂ければと思います。私は、短大での生活や、卒業した事を、誇りに思っています。短大時代の友人とも、定期的に会い、交流を深めています。仕事も役立っている部分がたくさんあります。こう思える人材の育成を希望します。
- C79 男 37 才：ものづくりに対する考え方や重要さを短大で教育してもらえればと…。
- C80 男 26 才：デザインを志した者に一般教養（特に理数系）は必要だったのだろうか？あんな使わない“数式”とか覚えるために費やした時間を、もっと専門学科の実習に役立てて欲しかった。中途な一般教養、中途な専門知識取得のために、貴重な2年間をささげた訳ではナイのだから。母校の産業デザイン科の閉鎖は我々卒業生にも責任はあるかもしれないが、もし、自分のやりたい分野をもっと集中的に学ぶ事が出来ていたなら、自分にとっても科にとっても違う結果が生まれていたかもしれない。そう思うとくやしい。もっと上を目指せる環境が欲しかった。
- C81 男 21 才：短大にもっと就職先のサポートをしてほしかった。講師の先生方はみんないい人だった。尊敬している。
- C82 男 22 才：会社では基礎がわかっていることが前提として何事も進んでいくため、専門分野の基礎はしっかりと学んでいた方がいいと思います。また、応用課程では問題解決やプレゼンテーション能力等リーダーに求められるような能力を高める学習をより多く行ったほうがよいかと思いました。私は丁度一年前就職活動を行ったのですが応用課程の知名度が低く苦労したのをおぼえています。関係ないのですが奨学金の返済などでよくわからないことも多いのでネット上等で住所等の変更ができるとうありがたいのですが。
- C83 男 29 才：資格を持っていると仕事をするうえで役立つ事が多い。小さな資格でもよいので短大在学中にもっと取れるようにすればよいのでは？資格を取る事を目標に職業訓練を行うくらいでもよいかも。
- C84 男 32 才：自分が入学していた頃はレベル的にも社会的にもかなりのものであったが、人が変わったのか、自分の考え方が古いのか今の人は、(現在の卒業生)は全くものにならない。地元の会社には「バカ大学」とバカにされている。このあたり、卒業した私として、もっとレベルを上げてほしい。
- C85 女 24 才：与えられた環境で学習や作業はできるが、何もない状況から自分で考えて、必要な環境を作って作業していく事が難しい。個人の性格もあると思うけど、自分で考える力や判断力を身につけるような教育、また応用力を身につける事ができたら、基礎から応用にと広がっていく事ができるので、企画・開発なども出来るようになるのではないのでしょうか？!
- C86 女 24 才：短期大学は、やはり2年間という短い期間なので、学習的には不十分な部分が、かなりあったと思います。教科書も、高い値段を出して、多くの物を買ったが、結局は全て終わらずに、うやむや状態で終了された記憶があります。どうせ、終わらないならば、基礎を確実にしてほしかったと社会に出てから、とても感じました。ただ、我校は実験が多く授業に取り入れられている事は大変良い事だと思われま。
- C87 男 22 才：私の場合産業デザイン科についてのみ書かせていただきます。まず、一般の英語、数学などは必要とは思えず、その時間分専門の教育に使うべきだと思う。結局、技術も中途半端で、やりたい事も見つからないまま、卒業という同級生を見ていてそう思った。デザイン業界なんてのは、その気になれば仕事を見つけるのは簡単な方だと思う。しかし、肝心の学生に「自分では無理なのでは？」と不安にさせている様に思う。もっと早い段階で専門的な技術をしっかりつけさせるべき。そのためにも、先にも述べた様に思う。これからも、もっと充実した職業能力開発を望む。
- C88 男 27 才：就職の決まった学生に、その職場に研修をする期間を設け、すこしでも職場の雰囲気になれるようにしたほうが良いと思います。
- C89 男 28 才：情報処理技術の取得・学習目的の為に短大へ進学しました。授業内容や卒研等は興味深い物が多く、学生時代は満足しておりました。就職後は更に実践的な知識を行動力、企画、自ら目的を作り、それに向かう為の手段を考える能力が必要とされます。実質、専門分野での知識も取得していれば苦労はしませんが、社会に出て働くということは、これらを生かすということよりも、仕事のプランマネジメントが十分できる人間でなければならないということ

- を痛感します。(とくにエンドユーザ相手の仕事をする人はそうです) 私は今でも、もう一度短大、又は大学へ戻り、一度社会人としての目を持った状態で再度勉強したいと思うことが多々あります。理由はより専門性の高いスキルを今の状態で身につけたいと思うこともありますが、授業そのものをマネージメントして学習してみたいと思っているからです。訓練校へは、もう少し実践的な授業、企業との共同研究やテーマを通して、つながりを増やして頂けたらと思います。就職してから、身についた能力が大学時代にあれば企業人として通用する道も多数選択できたのかとも思います。
- C90 男 22 才: 実際には職場について働くと、数学力(主に三角関数、ルート、乗根 e t c)などの工業数理を最低限身に付けてほしい。レポート提出などがあるときは表現力、自分の意見、考えをしっかりとつたえられるようにレポートを書く練習を行えばいいと思われる。それと、大事なのは責任感がどこに行っても大切なので、短大で、実習である物をつくり提出とか実験のレポート提出とか期限、時間をしっかりと守れるような人づくりが重要だと思います。あたりまえのことですが、なかなかこれができない人も多いと思われます。
- C91 男 32 才: 現在は違うかも知れませんが、当時は短大で教わったプログラム言語と会社で使っている言語の違い、苦労した覚えがありますので、時代に合ったプログラム言語の教育をお願いします。また、資格の取得も積極的に受けさせる環境も整えてもらいたいと思います。
- C92 男 28 才: 新しいソフトや一般的なものは一通り教えておいたほうが良いと思う。自分は習っていないのにワープロソフトや表計算ソフトの使い方を聞かれたり、作業をするように言われたとき対処に困った。会社では〇〇科をでているということで、その技能に関して過分に期待されたりすることがあったので。
- C93 男 25 才: 短大の先生がいばりすぎ。授業をもっとわかりやすくしたほうが良い。
- C94 男 30 才: 自分は製造メーカに勤務し、軸受の旋削加工の生産技術部門で働いています。月度 35 億円の約 60%の旋削全ての技術を担当しており、上司含め、2 名で活動しております。やはり、当社では開発業務(ロボット、機械 etc)は高度な大卒者が担当しており、自分達では、勝負になりません。ただ、加工技術となると、自分達の方がはるかに優れていると自負しています。先端技術も良いですが、逆に熟練さの分野での、人材が不足しているのが実際であり、今後の人材育成において、この分野での教育も新たな教育として必要ではないでしょうか? 技能五輪などに出場出来る様な人材が求められています。
- C95 女 24 才: 7 月 31 日現在ということなので、働いていることになっていますが、9 月 20 日で退職していて、今は無職です。短大の先生に紹介していただいて、就職したのですが、希望していた職種であるにもかかわらず、不景気で仕事がなかったり、どこか男と女で違いがでたりすることがいやで辞めてしまいました。まだまだ機械系の女の子は大変だと思いますが、もっと技術職でも受け入れてもらえるように頑張ってください。
- C96 男 24 才: 専門的な技術は職場で身につくものなので、基礎的な技術のもっと時間をかけたカリキュラムにしてほしい。
- C97 男 28 才: 私は卒業後の進路として、短大で学んだ分野の方面には就職しなかった為、残念ながら学習成果を十分には発揮できませんでした。しかしながら、そこで学んだ事は専門的で実践的でありました。今後は更に実践的という面で社会に出た時、即戦力になれるよう学んでほしいし、指導してほしいと思います。
- C98 男 24 才: 教本などのマニュアル学習ではなく、それぞれの進む業種に密接した学習・訓練を積み、就業後、企業で即戦力として活躍できるような人材の育成をしてほしいです。
- C99 男 27 才: 一般的には、一般教養よりも、専門的な勉強の方を多く時間をとった方が良いと思います。一般教養とは、高校までの学力で、(社会においては)大丈夫だと思います。現場見学などが多くの機会あれば、就職に対して、準備が出来ると思う。そういった機会を多く作ってあげた方が良いと思います。
- C100 女 21 才: インターネットは常に使用するので、ホームページ等の更新はこまめに行ってほしいです。楽しみにしています。
- C101 男 24 才: 現実として、社会人又は、卒業した後に、大学でやったような事を思い出す事が多々あるので、ちゃんとやっておけば良かったという後悔の気持ちがある。その反面、大学の授業というのは、やりこなすといった感じの実験あるいは、学習が多いので、具体的にわかりやすくした方が覚えやすいし、後々、思い出しやすいと思った。(例として)この回路、又は IC はビデオデッキに使われていて、どういった動作をするなど、実践ばかりにとらわれず、基本をきっちり固めた方が、就職先ではけっこう役立つと思う。(例)オシロスコープの使い方、抵抗・コンデンサの役目と読み方など。
- C102 女 28 才: 選択科目が無いのが、学生としてはつらかった。単位を落とさない事に、一生懸命になって、余裕をもって授業が受けられなかった気がする。反面、今がんばれるのは、学生時代に鍛えられたおかげなのかもしれません。

- C103 男 35才:大学とは専門的な知識を習得する場ではあるが、やはり今後はそれだけではなく、技術の場での企画力、マネジメント力等を学習する事が必要である。
- C104 女 22才:自分の意志が相手に正確に伝わらず、歯がゆい思いをした事がある。専門知識だけでなく、相手に自分の考えを理解してもらえるように訓練する必要もあるのでは?特に技術職では、自分の専門知識を相手に正確に伝えないと、後でややこしい事になっている、という状況がある。
- C105 男 26才:もっと早い時期に応用課程があればよかったですとおもいます。
- C106 男 24才:短大は2年と短い為、各科の課程をすべて、学ぶ時間がなかった。又、先生とのコミュニケーションをもっととるべき。あとは、本人のやる気しだいで、充分学習できると思います。私の場合、本気で学ばなかった、就職に関して安易な考えでいたし、毎日遊んでばかりいたと思う。今思えば将来の自分にとって、大切な瞬間だったのに…。もう一度学校に入学して学習したいと思います。
- C107 男 24才:基礎知識を身につけるのは、大切な事ですが、短大の頃から職場体験を1回でもいいからした方がいいと思います。職場体験を行なうことで自分自身、学生生活において何を学ぶべきか分かるかもかもしれません。
- C108 女 24才:就職に関係のない、すごく専門的な学習をしたけど、肝心な学習はしなかったので、働いてから困った。もっと実践的な勉強をしたかった。あと、2年しかないのに卒論をする必要はないと思う。勉強をする暇がないと思う。
- C109 女 21才:一年の時、全く学んだ事の無いC言語をいきなり学び、はじめからチンプンカンプンでした。クラスの中で理解していたのは数人、しかし先生方はそのまま授業を進めました。分かる人に合わせ、分からない人はそのままというのは、いかなるものでしょう?先輩、後輩も同じ経験をしているようです。何の改善もせず学力の向上はできないとおもいます。結果、ほとんどの人がプログラマーのという道(プログラムを仕事とするもの)に進んでいません。プログラマーの求人学校にきませんが、9割の人が進みたがらないのは、全く身につけてないからです。もう少しC言語など、学び始めに力をいれて欲しいと思います。そうすれば就職率もあがると思います。検討願います。又、女子生徒のほとんどが事務職希望なのに対し専門分野ばかりでエクセル、ワードなど数回しかやりませんでした。情報技術科なのはわかりますが、もう少し力をいれてもらいたいです。もし、ムリならば、専門分野をわかりやすくしていただきたい。これでは何のための学校かわかりません。改善に向けて何卒検討下さい。乱文ですみません。
- C110 女 28才:短大での教養は社会に入って、大いに役立った。実践的で良かった。(特にコンピューターグラフィック)ただ、プレゼンテーション能力・CAD(図面)が会社に入り、勉強不足だったけど感じた。実践的な自己表現の場がもう少しあれば・・・と思った。短大での学習の中で会社に入ってみて、良い訓練になったと思うのは、部外講師、会社の第一線で働いている方を先生として課題をもらい評価してもらおうというものは、とても実践的で今振りかえると最もよい授業だと思う。とにかく理論を学ぶというよりも、今の経済・今の世の中に生き残る手法を教えていただいた方が、より力となって、自信をもてると思う。また、就職にあたって、いろんな選択肢があることを卒業生なんかを呼び、講演してもらおうというのはやって欲しいと願う。学生というものは意外に視野が狭く、はばたけないので…。
- C111 男 37才:通信教育等就職後ももっと学べる機会があれば良いと思います。能力開発セミナーにも何度か参加しましたが、通常の業務とぶつかる事もあり、近年はなかなか参加する機会がなくなりました。
- C112 男 36才:短大を卒業して社会に出て、自分の勉強不足を感じました。短大の授業等で学んだ事ではあっても実際に仕事上で使えなかったり、短大での学科以外の知識が必要であったり、短大を卒業してからの方が学習する時間が増えた気がします。特に技術系の仕事の場合、常に新しい技術への対応等が必要となり、社会人となってからの学習が必要不可欠になっていると思います。そんな中、短大等で学べるような環境があったなら効率よく技術理解ができ、すばらしい事と思いますが。(実際に行なわれているのかも知れませんが)また、学習する上で専門書の入手に困難しています。学内図書館の本一般にも観覧できるようなルールができると良いと思います。
- C113 女 21才:専門知識、技能、技術、を身につけるには、浅く広い学習だったと思う。卒業後の進路を考える時、浅く広い学習の為に選択肢が絞りきれず苦労した。短大のカリキュラムに就職体験実習のようなものがあれば、職業選択に役立ったのではないかと思います。
- C114 女 20才:短大時代は楽しかったです。学習だけではなくレクリエーションみたいな物もあり、友達もできよかったです。しかし、学習の方にももう少し力をいれた方がいいと思います。私自身、勉強をあまりやっていなかったものもありますが、本当に知りたいことや基礎的なことをもっとやるべきだと思います。今、働いてみるとそう思います。簡単な事や本当に基本の事が少なく、よく分からないまま進んでいくのもよくありました。私は高校は工業高校のインテリア科を卒業し、短大では住居環境科へ入学しました。普通高校の人よりは多少知識はありましたが、分からない事だらけでした。今は電気工事の助手をしています。住宅の配線をする時に、自分は知識不足だと実感し、教科書を開いています。(電気ではなく、建築の教科書です。)もう少し建物の建て方や、部材の名称、基礎の事や仕上材など基本

- 的なことを詳しくやってみたらいいと思います。偉そうにすみませんでした。
- C115 男 24才：先輩との意見、他の人の現在の職業でやりがいのある仕事につけているのか、また、その仕事で満足しているのか etc. 意見を聞く場などをもうけてはどうでしょうか、後輩達の就職先の決定に役立つと思う。職業訓練校でやった事が大分、役にたっている所もあるので良かったと思う。学費の面でも、普通の入学より安い費用で設備も充実していたと思う。在学の人数が少なく、サークルなどが無いのが残念だった。
- C116 男 26才：企業というものは利益追求を重視するので建設業を目指す方は生産、歩掛などを勉強する必要があると思います。税金等で運営されていると思いますので無駄のない短大運営をよろしく願いいたします。
- C117 女 26才：学校生活の中で、あまりに自由で自己の判断で学習するといった風な様子がかえって無駄な時間をすごしてしまったと思う。その時はそれに対して何も気づかず、なんとなく卒業してしまって今思えば「もう一度勉強をしたい」という気持ちでいます。若い人達はそういった事に気がにくいものなので、何かもう少し方法を考えていただければ、現在の在学中の人達も、これからの方向性が変わってくるのでは…？と思います。
- C118 男 26才：今の勤め先では、人数が減ってきており自分の担当部門以外の手伝いを頻繁に行なう事が多くなりつつある。基礎や専門分野も必要だと思うが、柔軟性（発想力・対応力）が必要だと感じています。
- C119 男 28才：先生方が居ない場合、あまり連絡が取れないので困ります。また連絡網を下さい。
- C120 女 28才：もっと積極的に資格を取るべきでした。
- C121 男 23才：もう少し実習時間の充実が必要だと思う。広く浅くではなく、もう一步踏み込んだ学習が必要だと思う。
- C122 女 37才：2年間と言う短い時間の中での学習としては、1から教えていただく事ばかりで充実していましたが、いざ社会へ出るとたった2年間の学習では物足りない事ばかりで、とまどう事が多かったと思います。大きな科単位の学習の為、なかなか専門的なところまではいけず、もう少し専門的な学習（ゼミ形式）を掘り下げてやりたかったなあと思います。又、短大での学習内容に添った就職先（今は当たり前前の事でしょうが）もあまりなく、又、職種によっては、男女の雇用がなかったりと経験を生かせる場は少ないようにも感じられます。
- C123 男 33才：短大を卒業し、岡山にある職場で働いてきたが自分に合わず、地元（宮崎）に帰り就職先を探しました。そして月日が過ぎて一枚の広告から派遣社員として働き始めました。その会社も自分には不一致でしたが、無職でいる自分が嫌なので最後まで働こうと思いつづけていきました。しかし、約一年が過ぎる頃、会社の都合で辞めざるを得ない立場になり、再び無職の状態になりました。現在は鉄骨関連の仕事に就いていますが、全くの無知識で足手まといになっている感じがして不安です。私はこう思います。短大で、もっと専門的な技術を身に付けて、先輩らに感心される様な自分になりたかったと。
- C124 男 36才：在学中に世間の技術職の紹介等を学校側より指導していただければ、転職などが少なくなる様に思う。学生は世間・各会社の事を知らないため、学校紹介の就職先などは“なにを製造しているのか？” “会社の発展性は？” “ニーズに合った会社か？”等の内容について不安なまま、就職する例が多いように思える。又、各会社と学校が協力し合い、実験等を推進していくと良いと思う。（先端技術などの実験）
- C125 男 33才：私は、平成2年職業訓練短期大学校を卒業し、現在同窓会副会長をさせていただいております。私の卒業致しました学校はこの5、6年で学科や先生方の入れ替わり、又短大課程+専門課程の大学校へとめまぐるしい程の変化を遂げ、卒業してからの時の流れを大きく感じております。先日同窓会の理事会でお世話になっております大学校の事務方からお話を聞かせていただきました中で、卒業生の就職先がなかなか見つからないとお話がありました。私は思うのですが、企業側から考えると基本となる知識はもちろん必要だと思いますが、もう少し的を絞って、専門的な知識、技術を会得した、企業にとって即戦力となる人材を欲しているのではないかと考えます。その為には各職業に対しての分析等が必要かと思いますが、これからも今回のようなアンケートを通して微力ながらお手伝いできれば幸いです。
- C126 男 26才：ぼくらの頃は、どちらかと言えば浅く広く授業した感じがしたので、もっと1つの事にしぼってやってもらえれば良かった気がする。
- C127 男 22才：それぞれの専門分野は勿論のこと、時代背景に合わせた必要性のある分野の学習を行なえたら良いと思う。例えば、現代のIT化に合わせた基礎的なパソコン操作の勉強や、グローバル社会に対応して英語の学習に重点を置くなど。
- C128 男 35才：卒業後、同業種をいくつか変わりましたが、今、企業が欲している人材は、マルチに動ける人材だということがよくわかる。
- C129 女 30才：少人数制なので授業はわかりやすいと思うが、時代に少しついていけない気がする。社会に出て一番思うのは、やっぱり応用がきく様にならなければいけないということです。これからもがんばってください。

- C130 男 26 才：学生時代は視野が狭いというか、学生に入ってくる情報が少なすぎると思います。(仕事、社会について) 社会人と比べお金もなく、情報収集力も少ない上、暇な時間もすくない。(多い人もいますが・・・) そういう部分を短大側でカバーできれば、(自然なカタチで) 広い視野で学生生活を送れ、将来に対してのビジョンを持ちやすいと思います。
- C131 女 28 才：せっかく短大で習った事があるので、仕事はそういう方面でがんばりたいと思い、今でもがんばっています。確かに短大時代に思い描いていた仕事(や生活)ではない部分もたくさんありますが、(現実の厳しさと言うか、合う、合わないなど) とりあえず充実してると思います。デザイン科がなくなってしまったのが少し残念です。
- C132 男 32 才：今はどうなのか分からないが、就職というのは漠然としていた。本当の専門コースと、幅広くというコースがあるとよい。⇒就職先が専門コースから外れた時、専門コースの知識は全く通用しない。ならば、幅広い勉強を受けたいし、そこで本当の進路も見えてくるのではないだろうか？
- C133 男 40 才：基礎的な知識や専門的な知識は会社に出てから深めればよいと思う。浅くても良いので、広く知る事の方が大切に思う。
- C134 男 25 才：今不景気の中、低料金で学べてすごくありがたい学校だったと思います。よ良く言うことですが、もっと真剣に勉強しておけばよかったと後悔しています。就職していきなり、短大時代それ以前から身に付けた知識を生かしたと思います。どんどん新しい知識が必要な今の時代、その時の流行の技術を指導するのは当然ですが、一般知識の充実をはかって行ってもらいたいです。今更ではありますが、コンピューターを職にするなら英語は必要だと思います。どんどん進出してくる中国に対応できるような人材が必要となります。日本⇒アジア⇒世界とを相手にできる人材の育成が必要だと思います。その中において短大の果たす役割を考えていってほしいです。生意気を言うようですが、今後の発展を期待しています。
- C135 女 24 才：専門的な知識や技術については、結局は職場でしかわからないものとはいえ、学校側がそれをリサーチして、つねに新しい知識・技術を生徒さんに指導していくように。また、私の時代はパソコンが古すぎたり、メモリが少なかったりで、やりたいこともできない状況でした。設備に関しても、つねに新しいものをあててあげてほしいです。
- C136 男 35 才：とにかく口がうまくなければ世の中渡っていくことができないので、その教育が必要なのではないか。
- C137 女 26 才：資格取得の情報や、その場の提供があればいいかなと思います。
- C138 女 26 才：短期大学の2年間では、やはり時間が足りなすぎる様に思われる。広く浅くで、表面だけサラッとさらって中途半端な感じで終了してしまいました。いっそ、短期大学はやめて、すべて4年制にしたほうが、より良い技術者を育てていける場になるように思う。
- C139 男 32 才：短大で学んだ専門知識と、会社の仕事内容には、ギャップがかなりあります。しかし、パソコンのワード・エクセル・CADは最低でも身に付けないと、どこの会社でも役に立たないように思っています。
- C140 男 28 才：卒業してから、はや7年が経ちました。私の経験がお役に立つとは思いませんが、何かのお役に立てれば幸いです。現在は父の体の具合が悪くなり、平成10年4月より、父と二人で製造業を営んでおります。しかし、最近の不況で近々、会社をたたむつもりで現在就職活動中です。いろいろな仕事を経験してきましたので、それを生かすことの出来る仕事につきたいと考えています。特に生産管理に興味があり、製造に関してトータル的にかかわりたいと考えています。卒業後、多くの(私も)学友達が早期離職したと聞きます。それほどこの若者も同じだと思いますが、私は早期離職したことを反省し、後悔しています。得るものを得てから離職し、キャリアを積んでいくことがベストだと思います。また、学校でも社会生活(現実的なこと)を教え助言などをしてあげればと思います。きびしい時代ですが、みなさまの御活躍をお祈りしています。
- C141 男 32 才：再就職の支援があったらいいと思う。
- C142 男 36 才：自分の時には、まだ2期生のため、学校の名前など知らなかった。いまは県内にはなくなってしまったため、母校へは行けなくなりました。今後、また開校する予定はありますか？もし予定があるときは連絡等いただければ幸いです。
- C143 男 26 才：私が短大から就職する時は、大企業への求人がなく、中小企業ばかりだったので、大企業へ就職できるように、パイプ(こね)を作してほしい。」
- C144 男 38 才：若い技術者と話をしていて最近感じる事は、知識はあるのだけれど、机上での考え方が多く自分で体験していない。問題が起きた場合でも、自分から行動して解決するよりは人に任せた方が楽であるという考え方が多い気がします。短大には自分で解決していかなければ単位が取れないようなカリキュラムにしてもらい、そのような人材を育てて欲しいと思います。(知識だけでは、これからは大変です。)
- C145 女 29 才：ポリテクに入学し、専門的な知識が身につき、良かったと思います。卒業後、セミナーなどの案内が頂

けるのかと思っておりましたが、案外来ないものですね。話に聞くところによれば、夜の講座もあるようですが、そのような内容を知るには、どうすればよいのでしょうか？

C146 女 26才：入学当初から感じてはいたが、世間一般での知名度が低すぎる。学生でいる間は錯覚してしまいがちだが、例えば在学中にどんな高度な授業を受けていようが、実習を行なっていようが、単位数が多く、カリキュラムも多かったとしても、実際に学校名すら知らない人には卒業校として伝えても何の意味もない。一部の技術的な職業や、学校関係者でなければ、はっきり言って聞いた事も無いあやしい名前の学校でしかないと思う。世間一般、企業や高校等にももっと名前、存在を広めていく事が大切だと思う。講師や教授（先生？）としても、自分の技術に自信をもっているのはすばらしいと思うが、せまい世界で学生相手におごりすぎと感じられた。知名度が低いのが為、入学前や、外部の人からすると学校の実体が分かりにくすぎる。入学してから分かるというのは、遅すぎるのではないだろうか？せっかくの技術教育も間違えて入学してしまえば何の意味もなく無駄である。そんな人が生まれない為にもっと知名度をあげることが大切と思う。はっきり言って近所に住んでいる人にもいまいち理解されてないのが現状である。

C147 男 27才：プログラム言語を理解するのではなく、何故プログラムが動くのかを理解できる人が育ってくれる事を期待しています。

C148 男 28才：パソコンのマシン語の16bitのX6800PROのやつの情報が欲しかった。（今まで…）

C149 男 24才：当時は教師の方々の考えは教えるではなくカリキュラムをこなすといった教え方でした。職について改めて実感しました。一つの意見として、参考にして頂きたい。それとは別に、質問なのですが今後私が大学の三年に編入というような事は可能でしょうか。

C150 女 41才：短大という事で広く浅く的な学習が多かった様に思われます。私自身の認識不足もあり、在学中に取得出来る資格があったのか？なかったのか？もっと情報があれば良かったかなと考えた事もありました。

C151 男 45才：なかなか行けなくて申し訳ない。学際や発表会等はなるべく連絡下さい。

C152 男 36才：私は職業能力開発短期大学校 電子科を卒業後、電機メーカーへ就職し、当初は専門の知識を生かした業務を行なってましたが、会社側の事業計画の変更で、新しく配属になった部署は機械的な分野が中心の所で、役割的にも重要なポジションにつきました。これには大変な苦労がありました。機械的な分野の知識は全く無かったので…業務を通して一から覚えていくしか方法はなかったので何とか頑張りましたが、その時電気的な分野と機械的な分野の両方を学習する事がとても重要だと感じました。その方が、就職する際にも、自分が希望する職種が広がるし、学校で学んだ事が十分生かせると思います。現在はたぶん上記にあげた事が改善されているかもしれませんが、今一度就職してから、すぐに生かしていける様なカリキュラムにした方が良いと思います。（例えばある企業へ体験入学してみたり、ある生産現場を想定した業務のシミュレーションの実施など。）

C153 女 26才：一つだけ不満があるのですが、それは「短期大学校を卒業しても文部省系の大学に編入できない」という事です。私は、短大卒業後、2年間の学習では中途半端な部分があると感じ、社会人入試などで大学に編入できないのか調べた事があります。すると、文部省が管轄している短大なら特に何の学科卒業でも編入できるという条件の大学でも、短期大学校の場合はダメと分かり、少し残念な思いをしました。確かに、一般教養等の勉強はあまりしませんでした。短期大学校が主に高校卒業後2年間毎日勉強する場であることからすると、文部省系短大と区別されることには疑問を感じます。改善されないものなのでしょうか。初めに不満を書きましたが、短期大学校には感謝しています。特に、学費が安く、親にあまり負担を掛けずにすんだ事が良かったです。私は産業デザイン科に通っていたのですが、友人にも「私立の美大に行かせてもらう余裕はないから」という理由などで、短期大学校を選んだという人がいました。先生方も熱心に指導してくれ、尊敬していました。地場企業からの講師も何人かいて、将来の就職の事を具体的に考える助けになりました。4年制になると同時にデザイン科はなくなってしまったようで、もったいなかったなと思います。産業デザイン科で勉強させてもらったものの、卒業して数年たち、向き不向きの問題や価値観の変化などから転職し、今は公務員として一般的な事務の仕事をしています。しかし、短大では良い経験ができたので満足しています。

C154 男 33才：技術・製造・情報の社会人を対象とした短期間の実践的な講座を地方でも開催して欲しい。

C155 男 34才：実践において必要とされる基礎は、四年制において必要とされる基礎とは別のものである点を重視してほしい。二年間の教育で参加できる実践の現場をより具体的に想定するなら、短大のカリキュラムは除くべきものが数多くあると思う。より以上の教育への基礎は、希望者がその負担（特に時間）において習得すればよいと思う。教育の目的を単純にし、無駄を除く事で、より必要な教育訓練を経験できると思う。田舎での短大教育では、他に資格試験の受験校等が必ずしもない中で行なわれる点を考慮して欲しい。民間への圧迫ということを形式的にでなく実質的に考慮してもらえなければ、田舎の生徒は会社への強力なパスポートとなる資格を取得するのに苦労せざるをえないと思う。実践教育は資格取得教育を含んでもよいと思う。



- C156 男 24才：教育について。授業内容が判りづらくて単に自己満足な感じで淡々と進んでしまう。生徒の立場をまる  
で考えていない。
- C157 男 23才：一般の教育よりも専門的より実践的な学習が多い方が良かったと思う。
- C158 女 26才：短大時代は、レポートの提出やら課題などで大変忙しかった思い出がある。それはそれなりに良き思い出、少々入社しても役に立っている事もあるかもしれないが、学生時代に学校側からも（通しても）資格取得に取り組む形であったらもっと入社してからも良かったのではないかと思う。卒業しても即戦力にはなれず、かなり苦勞した。特に、仕事柄Excel、Wordのインストラクターをしている事から、基礎が全く授業に無かった為、大変であった。基礎に重点を置き、応用という形に授業を進めていく形であったら…と思う。
- C159 男 22才：職業訓練校に入学した学生は何を期待しているのだろうか？と今の自分自身に対し、入学した時の考えや思いを思い起こした時に何の希望も無かった事を覚えています。厳密に言う、はっきりとした目標が無くただ漠然とパソコンを扱う仕事や勉強がしたかったという事だったのでしょうか…。私が何を言いたいかというと、職業訓練に入ったから就職に熱心な人ばかりではないという事です。それは、興味が無いと言った方がいいかもしれません。彼らは、働くという事がなんなのかを知らないのです。アルバイトとも違う、自分自身が責任とこだわりを持ち又、報酬という見返りを得る。職を手にするという事です。高校、大学で教えてくれるのでしょうか、自分でどれくらい自覚できるのでしょうか？このような事を教える、または考えさせる、感じさせる、体験させる場を与えるのが職業訓練校であって欲しいと考えます。よりリアルな教育、実践的な技術であってほしいと考えます。若輩者の意見ではありますが、率直な意見を書かせて頂きました。宜しくお願いします。
- C160 女 27才：最近男女平等、女性の地位向上がうたわれていますが、子供を産むことができるのは女性だけであり、また、出産的年齢があるのも事実です。育児の問題などでやむを得ず職場を離れてしまう女性もいるのも事実です。短大教育を行なっていく上で、また、女子学生に就職相談する上で、そういう部分の教育も必要不可欠になっていると思います。私達の学生時代はそういう教育が欠けていたように思いました。その時点で就職が決まり、それでよし！ではなく、その人の人生のライフプランもふまえて教育していく必要があると思う。
- C161 女 34才：短大での学習は少人数で専門的で充実していたと思います。（ただ、学科、英語や倫理などは何をやっていたか思い出せない程無駄だったと思います。）就職活動は、先輩達がそうだったので恥かしながら、自分で企業の門を叩くという事を知らず、先生の声をかけてくれるのを待っていたので心残りです。世話が焼けるかもしれませんが、就職の相談、指導をやって欲しいです。その為に2年間頑張ってきたのですから…（私が卒業したのはかなり前なので今はそうなっているかもしれませんが…）学んだ事を生かせる職にずっと就いている人がどれくらいいるのでしょうか？私も今は生かせていませんが、子育てが一段落したら、また更に学習して仕事につきたいと思っています。それを支援してくれる様な短期の講習があったら行きたいと思っています。
- C162 男 40才：短大での学業と一般社会とのギャップについて、短大での専門技術は、社会での一般技術にすぎない。仕事を通じ、本当の専門技術に出会う。又、日本が自由社会である以上、必ず金銭が絡んでくる。先日、あるTVで特殊技能者がこう言った。「この専門技術は食う為のものだ。金が無ければ、結婚も出来ないし、自分の夢を実現させる事も出来ない」日本の学生には、この感覚が無い。又、日本という国の風習上、金の事を表面に出すのはタブー的な所もある。しかし、実際の所、このギャップで幾人の有能な人材が夢を捨ててきたが、21世紀となり、より多様化する社会に対し、短大側としてもより多くの企業との連携を深め、より即戦力なる学生を育てるプログラムが必要ではないか、通り一近の専門学習では、本当の人は育たない。又、非常識的な思考の人の生かし方も凝り固まった技術の打開策として必要ではないか？ゴミも宝となる時代である。
- C163 男 31才：さまざまな企業へ体験入社、実際の仕事の内容や、職場環境を体感する研修があっても良いのでは？セミナーや教育は経験のない専門分野の実務を行う際に必要になるので、教育システムの設備がない地方の中小企業の技術者には有効となると思います。その様な地元企業との交流をどんどん行なっていただきたいと思います。
- C164 男 31才：専門的な事も大事だが、道徳的、人道的教育というのも、これからは必要と考える。特にマルチ的人間というのは、いつの時代でも丁重に扱っていただけるはず。要するに、大学以前に身につけていなければならぬ常識が無い輩が多い、昨今、いろいろな情報を吸収し、常識ある人間ならば、おのずと知人・友人・先輩方達から、かわいがられ、しいては、仕事（自分の収入）につながっていくはずである。よって大学でもあらためて人道的・道徳的及び社会通念上の常識を身につける為の教育をしていただきたい。
- C165 男 37才：何か伝えたいと思いつつも、時間だけが過ぎてしまいました。仕事のできるできないは、成績に比例するものではありません。考えることが上手いか下手かです。簡単に思われるかもしれませんが、95%の人達が出来ていません。物事を考える方法を、これからの人達に伝えてあげてください。

- C166 男 32才：少子化時代の子供達が就職するまでの10数年間、就職難の時代が続くと思われる。となると、今までの短大からの就職先以外にも検討していかなければいけないと思う。その際の資料（学生への）として、このアンケートが役立てばと思います。
- C167 女 28才：卒業後専門部分の資格を取得できる、受験用の勉強をした方はいいと思います。仕事をしながらの受験勉強はむずかしく実践とシケン問題では違ってくるため、仕事に慣れるまえに資格の取得は必要になります。即戦力を求められる職場での求人はキビシイかと思いますが、まずは資格取得が最重要だし、資格さえもっておけば、あとは実践での経験で仕事をしていくこともできる。
- C168 男 28才：社会的には、高校卒業とあまり変わらない！会社によっては、工業高校卒と同じ扱い！短大卒はキャリアあつかいにはならない！よって、高度な技術職人になりました。機械加工、溶接、機械設計、設置など。
- C169 男 32才：短大で職業訓練したとしても、現在の企業において機械や技術の進歩が早く、多少の知識はあるが、ほとんど企業に入り、覚え直さなければならぬことが多い。なるべく、最新の技術を職業訓練してほしい。
- C170 男 35才：公務員資格取得の科目免除になるよう体制にして欲しい。（卒業してもメリットが無い）
- C171 女 25才：学んだことを生かす就職先がなかった。（求人がない）
- C172 男：文面によるアンケートも大切ではあると思うが、今の時代ITを活用すべきではないでしょうか？インターネット・メール等を活用した方が、もっと多くの意見があつまると思います。
- C173 男 24才：自由な発想の授業環境を一人一人で築き上げて下さい。
- C174：短大で勉強したことは、ほとんどと言っていいほど会社で役立たなかったもので、もっと会社で知識が生かせるような授業をしたら良いと思います。
- C175 男 41才：社会に出て思った事ですが、短大のイメージから、高専で同等に思われがちですが、資格認定取得のレベルからは、工業高校以下である様に思えます。資格取得に有理になる様な、カリキュラムを組む様に今後検討していただければ、これからの人材の励みになると思います。
- C176 男 34才：学校の名前がカッコ悪いっていうかイメージがよくない。「職業」をなくした方がよい。一般科目は無くして、専門的な知識や技術だけの教育で良いのではないかと。ひとつの学科だけでなく、在学中に複数の学科も学べるようにすれば、個人の幅が広がり、今の様な時代には、つぶしがきく。
- C177 男 39才：1期生だった事もあり、学校の方でも、カリキュラムなどで模索しながらやっていたので、中途半端な感じが否めなかった。一般教養をするよりも、もっと専門的な学習ができたらよかったです。パソコンなども今よりはかなり面倒な物だったので、もう少し楽に扱う事ができていたら良かったと思います。
- C178 男 49歳：私は昭和46年に高校卒業と同時に就職したのですが、数年後にオイルショックが起こり、昭和50年2月に会社都合で退職させられました。突然行く当てもない状態になった時にたまたまNHKテレビの「お知らせ」で短大の募集を知り、その一週間後の入試を受けて運良く入学出来たものです。その当時の短大は世間一般にあまり知られていなかった様で、私の入学した電気科は定員20名のところクラスメートは7名であり、その内高校卒の現役は2名しかおらず、他の科でも同様だったと思いますが、私を含め紆余曲折を経て来た者が多数派でした。私の場合、4年間も勉強らしい事をしていなかったのだが急に学生生活をおくる事になったのですから、最初のころは胃が痛くなったこともあります。（短大での学習内容は一般大学と比べてもきつい方だと思いますが）しかし、入学させてもらったからには挫折しては申し訳ないという思いで卒業まで至ることが出来ました。今振り返れば、あの2年間がやればできるという自信をつけさせてくれたと思っています。以上の経験から私が短大にお願いしたいのは、私の様に一度社会に出た者でも入学しやすくする事と、入学したら、ある程度厳しくする事の2点です。希望する者が全員入学出来て、入学した者は真剣に勉強する、これが理想だと思います。
- C179 男 24才：短大教育の中ではどのような選定基準で実習用のCADを決めているのでしょうか？多くの中から選定していると思うのですが、実際の業務の中で、多く使用されているモノ（実際はそのような基準で選定しているかもしれないのですが…）を使って学習ができればと思います。実践の中において、すぐ力になれる人材を育成していく事を考えると、そういった目で選定していく必要があるのかも…？と思います。他校を見たわけではないので、えらそうな事はいえませんが、そう思います。また、そういったモノを使った企業人スクールのさらなる充実もしていただければ…と思います。
- C180 男 29才：専門的な知識も大事だけど、資格（国家試験などの）取得の為の講義があってもいいと思う。就職には資格があるかないかが影響するから。
- C181 男 31才：今の自分が感じている、会社が求めている人材とは、単なる専門技術者ではなく、「会社としての」専門技術者であり、自分の為す業務が会社の中でどういう位置にあり、どんな事を考慮していかなければならないのか（生

- 産管理、ISO活動、etc) を考えられる技術者だと思います。どんなに優れた技能の持ち主であっても、会社にとっては、業績につながらなければ、社員としての評価は良くはありませんので、技術者である以前の会社員としての質を求められている気がします。当たり前だといわれれば、それまでですが、「短大」＝「専門」という意識が定着している中で、「専門」が特定の突き出したものではなく、その周辺、広い視野から見た、位置付けを充分理解した上での「専門」であることが求められているような気がしています。
- C182 男 28才：教官、先生同志の派閥、または悪口などが今でも印象に残っている、先生同志の人間関係は生徒にとって重要であると思う。私が在籍していたのは10年位前だが、英会話の授業が短く、レベルも低すぎたと思う。科目によっては、見方が一面的すぎるものもあった。生産管理では、トヨタの「看板方式」を習った。トヨタにとっては都合よい管理方法だが、反面これは下請けを犠牲にするという大きなマイナスの側面がある。正、負、二面を見てこそ初めて「理解」と言えるのではないか。特にこれ程までの不況になれば、「大企業の論理」だけで良しとするような授業は責任性に欠ける。
- C183 男 23才：もっと専門に一つをやったほうがいいと思う。そうしたほうがこれからはいいと思う。
- C184 男 40才：まず自分への反省として勉強するという意気込みがまるでなかった。目標が漠然としていて、あっという間の2年間だった。本人の自覚が大切だと今は思うが、あのときは、ただすごしていた。学校へ：開校して間もなくだったので、準備が不十分だったような気がする。(何においても) 職業訓練校とかかわらなかった。(しかたがない気もする。)
- C185 男 33才：専門的な事は、教えると思いますが、多くの資格が取得できるようにしてほしい。
- C186 女 22才：今、就職して、実際に使える資格が取れる様な勉強や、技術を学べる様な授業をすべきだと思う。古い物や、今は使われていない様な事ばかり教えてもらっても、全く役に立たないし意味がないと思う。
- C187 男 32才：学歴を考えたら今の社会は短大卒というだけで、昇格はしない。(大企業では難しい)しかし、昇格はできる能力をつけるべき場所だと思うし、そうあるべきである。そういう意味では座学よりも社会人になるという自覚(考え方、意思表示)が大切だと思う。結果的に役に立つことは、実践的なことではないでしょうか。その経験をもとに、いかに資格をとれるかが将来のやりがいにつながると思う。
- C188 女 25才：授業の一環として、企業体験(会社に1週間くらい働きに行く)やポリテクでやっているセミナーの手伝いをする、かなり勉強になると思います。
- C189 男 26才：授業での実験・実習が多いため、就職後すぐに仕事ができることは大変よいと思う。しかし、近年考える力が弱い人が多いと思う。そのため、物事を理論立てて考える授業があればと思う。今後も、職業訓練をがんばって下さい。
- C190 女 31才：短大で学んだことを直接生かせる職業を選んだわけではなかったもので、この回答はお役に立たないかと思えます。申し訳ありません。私が短大で得た最大のものは友人であり、知識や技能と言えないのが気になります。
- C191 男 35才：将来の目的がはっきりしていて、すぐにも社会に出たい人なら短大で学ぶことはすごくいいと感じているが、仕事についたら、給与が短大出身である為に大学卒業者より低くなっていることが多いのが気になっている。自分はただ目的がなく入学したので技術を知ることや技能を得るには、いい所でした。職業訓練を受けていても、実際の仕事では、まだまだ即戦力には、ほど遠いと感じました。そして今の卒業生を見てもそう感じます。
- C192 男 21才：私の学んだことは、社会へ出るための”さわり”程度で、実際は厳しいという現実があることをもっと認識してほしいです。自分もそれで苦労したからです。やはり本当のプロというのは、企業や時代が必要とする「技」に対して生まれるのだと思いました。ので、学生の就職活動をしっかりとしてもらい卒業後の社会人としての心の変化や精神面での教育があればと思いました。
- C193 男 32才：今、私が感じている事を箇条書きします。基礎学力(数学・物理) 専門書を読んで理解するには必要。英語力、会話が出来るといいですね。レポート、報告書を書く能力(実験・実習の内容よりも相手に伝える能力をつける必要があります)
- C194 男 28才：我が母校が閉鎖したのがとても寂しいです。寮での2年間が楽しかったことが一番の思い出です。卒業してから現在も電業の会社で働いています。仕事上でよく学校に行くのですが、能開大の設備はすばらしいと思います。特に太陽電池と風力発電のハイブリッドシステム。このシステムは、弊社で納入したのですが、その他大学校、付属短大にもぜひよろしく願います。
- C195 女 20才：私の場合、短大に入校する前とした後の、学習内容があまりにもギャップがあり、授業についていけないことがよくありました。なので、学校案内の段階で、各科の学習内容の情報が必要ではないのかと思いました。またクラスの生徒の中にも、専門的な知識をより多く持っている人といない人の差が大きすぎて、先生も、勉強のできる人

に合わせて進めていくのですが、ついていけない人への対応が無いので、ついていけない人は辛かったです。

C196 男 28才：仕事に、日程、品質、コストは絶対必要条件だと思います

C197 男 32才：一般教育科目に関しては、高校までの教育で十分通用すると思われる為、専門科目を多くした方が良いのではないのでしょうか。ただし、語学力に関しては別です。特に英語。語学力の教育に関しては教科書での学習よりも実際の生の言葉を聞いて会話する、文通する等コミュニケーションで学習するほうが早く能力がつくと思われます。専門科目に関して、教科書→テスト→評価の流れも重要ですが、専門知識は社会に入ってからの方が多く学べる為、短大では実験・実習を多めに行い、企画→実験→プレゼンを経験しておく方が良いと思います。特にプレゼンを経験しておかないと、対人関係の対応、喋り方、羞恥心等で問題になってきます。これからの就職に関して厳しいと思いますが、就職/昇進の評価は成果は勿論ですが、語学力と資格が無いと難しいでしょう。短大時代に多種の資格を受験、保有しておくことが重要だと思います。以上です。

C198 女 22才：ある程度、基本的な専門知識も必要だが、問題認識・問題読解力・アイデアが必要と考えます(問題解決力を身につけるには、情報収集・分析が必要。)

C199 男 31才：私も短大を卒業して10年余り経ちますが、短大で学んだことが全て仕事に役立つわけではありません。日々が勉強だと思いました。で、最近の新入社員などは、皆が皆とは言いませんが、真剣に仕事を覚える気があるのか、自分は自分という感じで率先してやろうと気が見えない感じがします。そのあたりを先生方も踏まえて日々生徒とコミュニケーションして頑張ってください。

C200 男 32才：実験、実習はとても役に立つと思います。今後は企業の中に入って体験学習等を行なうとよりいっそう実践的で、良い学校になると思います。多分アンケートの中にも明記されているのではないとは思いますが、情報収集、問題解析等は必ず行なうと思うので、この点に関してはどうか生徒たちに教えてあげてください。どのように教えるかは楽しみにしています。以上

C201 男 28才：就職してからの業務で、問題点を相談できる体制(窓口)があれば嬉しい。

C202 男 25才：学習よりも2年間の人間関係が大切だと思う。

C203 男 34才：一般の普通の短大より、学科の単位が多かった為朝から夕方まで、ずっと授業でありというか、ほとんど遊ばなかったですが、それが返ってよい方向に向かっていたような気がします。だから科目は多く、ハシバシと学生を勉強させてください

C204 男 37才：国からの資金にて、成り立っている職業能力開発大学校について、税金の無駄使いなどの指摘もあるようなことが聞かれましたが、私個人の考えとしては、こう言った教育機関があることの重要性が分からない人たちの考えの一部分であり、今後は、私たち卒業生の活躍次第で、こう言った訓練・教育機関の重要性が出てくるのではないかと思います。そういった部分では、私自身が力不足であり、大変申し訳無く思っています。しかし、これからの日本の経済や産業を考えますと、今後10年の間には必ず職業能力開発大学校に携わる人たちの成果がやっとな出てくるのではないかと確信しています。確かに、難しい時代に入ってきていますが、難しい時代に入っこそ、こう言った教育期間に成果が出てくるのではないかと思います。今までの世代、右肩上がりの経済・産業の中での教育・訓練と違い、教育内容も新しい考え方の内容を取り入れることで、その時代のあった教育内容や5年先、10年先を見込んだ教育項目も必要だと思います。その時点では現在の職業能力開発大学校は、いろいろ新しい教育課程もできているようで、その効果はすぐに出ることでしょう。今後も企業の要望や交流を増やしてもらい、卒業生の意見交換等も積極的に行なってもらい、職業能力開発大学校しかできないことを失敗を恐れず実行してもらいたいです。私もできる限りのことは、協力したいと考えております。また、何かの必要性がありましたらご連絡ください。以上、職業能力開発大学校に携わる人たちにご健闘・活躍を祈っていますので頑張ってください。

C205 男 29才：充実した短大生活を送りました。現在の仕事にあまり短大時代の技能・技術は生かされておきませんが、基礎的な知識は生かされた時期がありました。今後の業務に必要な時期があるかもしれませんので、生かしていきたいと思えます。卒業してからだいぶ経ちますので、技能・技術を再度身につけたいと思えます。セミナー等の情報提供はぜひとも望みます。

C206 男 25才：今の自分にとっては、短大時代の専門知識学習等は、それなりに役に立ってはいますが、正直、当時はあまり真面目な熱心な学生ではありませんでした。今社会人となって、仕事の中で必要に迫られ勉強しながら仕事をしているといつてところでしょうか。苦勞しています。でもそれなりにやりがいは感じています。短大時代の勉強がもっと魅力のある、意欲のもてるものであったらと思わずにはいられません。

C207 男 31才：パソコンをもっと利用させて欲しい。ワープロ・表計算ソフト・インターネットは最低限必要。

C208 女 34才：私が卒業した短大が閉校してしまったこと、とても残念です。短大では本当にいろいろなことを経験し

- ました。電気工事の実習や溶接など、女性の私でも楽しく勉強できました。現在の仕事には直接関係の無いことが多いのですが、決して無駄だったとは思っていません。むしろ、なかなか経験できないことを経験したことを、とてもうれしく思っています。貴校のように少数での教育、そして実験や実習に力を入れたカリキュラムは、とても良いものと、私は思います。ぜひ、今後も変わらずに、たくさんの卒業生を送りだしてください。
- C209 男 26才：一番いいたいのは（現在は違うかも知れませんが…）専門的過ぎるプログラミングを学ぶより、各種アプリケーションの操作、及び応用等を学習できたほうが遥かに実社会において活用できる場が多いし、何より不景気な現代社会において選択できうる職種に広がり期待できる。これは間違いない気がする。特にMS-ACCESSの学習は不可欠である。これで一般課程を終えてきた方と大きく差がでる。今後、後輩達の学習では、是非ご検討頂きたい。
- C210 女 26才：私は電子技術科に入学しましたが、現在印刷会社に就職しているので短大で学んだこと全てが生かされている訳ではありません。就職したい業種に必ずしも就けるとは限らないからです。しかし就職が決まってから、短大の他の科の先生方に協力してもらいマッキントッシュ等の学習を行い比較的スムーズに仕事を行うことができました。私は就職するために短大に進学し、就職もしましたが、学んだ事全てを生かすことができていないので、私の経験上以下の点を考慮して頂ければと思います。・職場へ見学一体験学習（会社で仕事をする事の理解と社会での人とのつながりを理解する）・間口を広めた個人学習実習（自分の科だけでなく、やりたい人へは他の科または他の学校でやるようなことでもできるだけ提供、情報公開できるようにする。）最後に就職後も資格の講座等でより多くの機会を提供し学校を開放してほしいです。
- C211 男 31才：座学も大事ですが、実習の時間が短かったような気がする。もう少し、実習や実験の時間を増やしてみてもいい？
- C212 男 30才：学校で学んでいる事は、基礎的なものであり、重要な事ではあるが、仕事で役立つかどうかは、就職後、その職場での学習しだいである事を忘れぬ様に。学校で行われている教育内容は、（その会社にもよると思うが）少々現状の技術より遅れていると思う。すでに使われていない技術などを学習する為の時間が、長かった様に思う。難しい事だとは思いますが、出来るだけ最新の技術を教育内容に取り入れるべき。
- C213 女 28才：職業訓練校自体は良い制度だと思うし、就業目的の教育施設があることは必要だと思いますが、職短自体が、今の現状に追いついていない気がします。具体的にいうと、設備や建物、資金などのハード面はそろっているのに、人材育成や、授業内容、技術習得（ソフト）が全く出来ていないような気がします。目的として何でも幅広くできるような技術を目指しているようですが、広く浅すぎて、あまり役に立たないことが多いと思います。もっとするのなら、具体的な技術を目指して深くすべきだと思うし、現状を見ていると、とりあえず実績が必要だから、カリキュラムや人材をそろえただけに見えます。本当にするのなら、教える方の人材も現役で技術を行っている者に必要な深い知識を生徒に身につけさせるべきだと思います。技術というのは、その分野の人間しか出来ないことだから専門職になるんです。そんな技術をどんどん教えるべきだと思います。あとは資格がどんどんとれるような環境が必要だと思います。
- C214 男 32才：一般科目に英語と数学が有りましたが、数学は全く必要としておらず、もっと英語に力を入れるべきだと思います。又、センサー工学を学びましたが、センサーの機構を学ぶ場が大半でありました。しかし就職してからは、センサーを用いた回路の設計をはじめ実践的な知識が要求されましたので、もっと実践的な知識を学ぶカリキュラムの方が現実にマッチしていると思います。
- C215 男 48才：塗装場の作業環境測定を行って下さい。一度、営業したことがあります。ダメでした。
- C216 女 23才：実際に2年間の短大生活を修了し今思うこと。授業範囲が広すぎる。もっと的を絞って、形だけの一般教育科目をなくして、その分専門学科目の内容の充実化を進めていった方が良いと思います。専門学科目の中でも、たとえばコンピューター基礎という授業はパソコンには触れず、パソコン検定3級のテキストを読み合わせた実に形だけの授業でした。短大であっても、高校的な授業内容なので、実践的な授業内容の時間を多くとり、資格をとれるというような内容の授業にしてほしかった。
- C217 男 31才：専門的知識や工作機械作業等の修得についてはとても充実している様に思われます。しかしながら、現代社会において仕事をする為には、それぞれ職種に応じた資格が必要とされています。2年間という短い学習期間ではありますが、法的資格に関する情報の提供と共に学生個々が将来に向けて、資格・免許を修得する為の環境を少しでも作ってあげたら良いのではないかと思います。
- C218 女 30才：カリキュラムは厳しくても、頑張ってやった事は必ず社会に出て役に立ちます。一見無駄な様でも回り回って全てはからみ合ってくるものです。欲を言えば、社会に出てからも、たたかれてもくじけず、自分の意見を堂々とと言える様な人間形成を望みます。カリキュラムでその様な方向付けが出来れば良いのですが、プレゼンに慣れさせる

- とか、人の前で自分の思っている事を間違いなく伝える、というのは、出来ない人がおおいだけに、出来るととても得をします。せっかく能力を持ってても、大学でいい勉強をしてきても、発揮できないままじゃもったいないです。100の能力を持ってても10しか分かってもらえない人より、50の能力で50をフル稼働した人が、人生は勝ちです。
- C219 男 27才：あまりメジャーな学校じゃないと思うので、もう少し、宣伝した方がいいと思う。意外と、興味のある人は多いと思うので。学生時代、いろいろ資格がほしかったけど、ぜんぜんとれるものがなかったので、幅を広げてくれればうれしい。卒業後どんな職業につくかわからないので、そんなにきばらなくても、いいと思う。(仕事についてからの方が、いろいろな面で勉強するので)
- C220 男 28才：実習や資格取得を積極的に行っていってください。
- C221 女 37才：浅く広くしか学ばなかったのであまり学習した事が身につかなかった。本当にやりたい事とあまり結びつかなかった。
- C222 男 24才：専攻入学した時点で、各々の科にはこういった職業・求人があると明確にし、それになるためにはどうすればよいか、何を勉強すればいいか、早めに指導するべきだと思う。結構、分からない人は多いと思う。
- C223 女 28才：卒業生は学校で職業訓練を受けれる制度があったらいいのにと思うことがある。現在、育児の為、何もしていないので、パソコンの知識や、短大で学んできたこと等、全く忘れてしまっているので、育児が終わった後も社会復帰すると言っても、結局、パート働きになってしまうのがもったいないと思っている。在校中、職業訓練のようなことをしていたのは知っているが、実際どうしたら、受けられるのか、どういうことをやっているのか知らないで、そのような情報があれば知りたい。在学中はレポートに追われて授業を熱心に受けなかった。今思うと、もっとかんばんなかったんだろうと後悔しています。あの頃に戻れたらいいと思います。
- C224 男 31才：建設業の仕事をしていますが、重機や職長等の資格を取得しなければ行けない仕事が多くあります。スケジュールが忙しくなると、毎年実施されている講習等をのがしてしまったりします。他の業種の資格も必要な場合がありますので、情報の提供をインターネット等でお知らせ願えれば幸いです。
- C225 男 23才：資格取得をもっと積極的に斡旋して欲しい。何事もコミュニケーションが重要と考えるので、特に交流の場を多く設けた方が良くと思う。
- C226 男 34才：現在、土木・建築業界は不況にありますが、短大に今土木のクラスがどのくらい存在しているか不明であるが、私の卒業した学校には、土木クラスはありません。これからの土木・建築業界のためにも土木クラスを造って欲しい。
- C227 男 30才：私は事務職ですが、今まで経験したことについて報告します。①仕事は何より人間関係が一番重要です。自分と相性の良い人と仕事ができるとは限らず、相性の合わない人とも仕事をしなくてはなりません。如何にその人とスムーズに仕事を進めるかが特に大変です。【人間関係が良くなれば、仕事の効率・能率もアップします】②入社してからその職場(部門)で、最低でも5年間で実績を出さなければ会社では認めてもらえません。真面目に確実な仕事をして、5年間で自分の力をどれだけ発揮できるかが重要なポイントです。③一級土木施行管理(国土交通大臣指定機関財団法人)を受験希望していましたが、職業訓練短期大学校(専門課程総合土木科修了者以外)の卒業生は、短期大学卒業扱いにならないので、受験資格年数待ちになっているところです。何故、自分は短期大学校を卒業したのにもかかわらず短大卒業扱いにならないのか、今も疑問です。現状、高卒扱いとされていることを、一日も早く改善できないでしょうか?
- C228 男 24才：学校にあった求人票の内容と実際の現場では、かなり大きな違いがありました。給料、通勤方法その他で。会社訪問とかに來られる学生さん達を見て、自分は「今、来ている人達には、会社の上辺だけを見せているねんなあ」と良く思います。実際に働くのと見学とは大きな違いがあります。だから、一時的にでも、仮に勤務(見習等)できるようなシステム(体験入社みたいなやつ)があったら良いのと思います。一度会社に入ってしまうと、なかなか自分にあった仕事でなくても、会社を辞めるということについて先の見通しがつかないのでなかなか決断し難くなると思います。
- C229 男 23才：学生は将来どのような仕事に就きたいのか明確にする事が必要で、学校は、個々の学生の目的に応じたカリキュラムの選定や指導をやっていくべきだと思う。しかし現状は、学生の就職に対する意識は低く、具体的な将来を考えるに至っていないのではないかと思う。一度就職して経験しないと分らないかもしれないが、もっと自分を見つめ直し、将来を考える機会を与えてあげる事も重要ではないかと思います。
- C230 男 28才：私は、在学中まったくと言っていい程勉強していませんでした。従って、在学中身に付けた学力は殆どありません。実際に職に就いてみると、学校での授業内容等生かせる部分も多く「きちんと学習しておけば良かった」と後悔した事も事実です。しかし、知らず知らずのうちに身に付いた事もあった様です。就職してから本気で勉強し、知

- 識を得ましたが、やはり在学中に学習し、学生のうちに色々な資格を取っておくべきだと思います。学校側でもっと積極的に各種受験を推進し、資格取得する様にする環境づくりが必要だと思います。
- C231 男 41才：私は30代で短大に入学しましたが、短大時代若い人達と接して感じた事です、今の若者は、礼儀とか言葉遣い、目上の人に対する尊敬という道徳心が欠如している様に思います。仕事ができる技術者を育成すると言うことも大事ですが、素晴らしい人間性が伴って初めて社会人として優秀な技術者であると言えると思います。そういう観点をふまえて、技術面のみでなく学生の人間形成と言う面も重視して、カリキュラムの中にも取り入れて欲しい。
- C232 男 36才：随分前に卒業しましたので、学習内容が大きく異なるとは思いますが、社会に出て伸びる為の学習を短大でさせていただきたいと思います。
- C233 女 22才：何の為に勉強しているかと考えていたが、その一つ一つの勉強が実際に仕事をする事によって一つの全体の流れである事に気付いた。知識が実際にどのような場で必要となるかという事前の説明が、学習前に説明してくれたら良かったのではないかと思う。
- C234 男 24才：現在、IT産業、情報化社会だの身の周りで叫ばれていますが、そう言った社会の波に乗っていくのも大事だと思いますが、それ以前に、社会人としてのマナーや挨拶等基本的な事もしっかり身のつけてもらいたいと思います。
- C235 男 34才：日本企業の製造現場においては、高品質で短納期の品物づくりが主流となってきています。その為、各企業生き残りを掛ける為に、設備投資を頻繁に行っています。その中でも、NC関係の機械においては、メーカーも次々と新機種を出し、5年前の機械は現在では見た目でも古さを感じるくらいです。そこで学校においても、古い機械で実践講習を行うよりも、常に最先端に行く機械で実践をし、学校を卒業し、企業に入ってから、即戦力として会社に貢献していける人材を育成するべきです。これが今、企業が求める人材像の一つなのです。
- C236 男 28才：今私は、家の後を継いで、修理関係の仕事をしています。この大学を卒業して思った事は、授業は詰め込み型で、小人数でも高校の違いで学力に差があり、専門授業になるとついていけなくなります。実務経験の要らない資格など取れば良かったと思います。
- C237 男 31才：短大で学んできた事を実際に生かせるのは、研究部門のような場所になるかなと思っています。最近、職場が技術部から購買部になり、客先コストを満足させるための買いの部分と、要求に合った設計を元設計として後任にアドバイスするような立場となりました。私の会社だと、技術畑の方々はコストに対する意識が低く、コストに見合った設計というのができていません。技術を追う事はできているのですが、トータルで見えてはいないな（収支を考慮していない）と感じています。今後の技術者といえども、経営についての知識が必要になっていくのかなと思っていますし、会社に入ってから教育も、そう言った内容が多いです。どういった内容を求めれば良いかわかりませんが、検討してください。
- C238 男 20才：・早めに卒研に取り掛かるようにした方が良い。・就職活動は、1年の頃から取りかかるようにする。・先生方も、後になってあせるくらいなら、就職活動にもっと協力すべき。・資格取得に力を入れるようにしないと就職が見つからない。
- C239 女 25才：授業内容が、普通高校を卒業した私には難しく、とにかく暗記をしていました。内容を理解しないままテストの為に暗記するという事は、卒業後、用語を知っている程度で、実践では全く活用できていません。授業内容が今はどうなっているかわかりませんが、もっと充実した内容を授業に取り入れて欲しかったです。
- C240 男 31才：短大を卒業しましたが、学歴としてみとめてくれない所も多いようで、その辺の所が歯痒く思っています。もう少し世間一般にも「どうゆう所で、どうゆう勉強」してきたかを知ってもらえればうれしいと思っています。
- C241 男 30才：・短大時代、数学・物理など100人位での授業では余り熱心に授業を受けていないので、改善が必要だと思います。・専門の授業は充実していた。・実習も充実していた。・理論と実習を繋げるような授業が必要だと思います。会社での開発・設計作業は、理論と実習が一連の作業になっている事が多いため。
- C242 男 30才：学習科目が多いような気がする。もう少し専門的な内容を詳しく学習できれば良いと思う。
- C243 男 29才：専門知識は会社に入ってからでも充分。何が必要とされているか、どの様に対応できるか等、応用力・コミュニケーションが大切です。
- C244 男 28才：学校について・もっと一般の大学と同じようなサークル等があってもいいと思う・卒研に対する指導等が足りなかった・就職活動時、企業先に卒業生が就職している場合、もっと情報が得られると思う。
- C245 男 22才：私が学んだ短大は、教師自身が学生を見離しがちだった。
- C246 女 32才：今は不況の為就職の選択の範囲は少ないかもしれないが、一度きりの学生生活なので、専攻にしても就職にしても本人の意思を最優先して欲しい。あくまでも担任の意向は意見として「〇〇の方があっていると思うが」と述

べる程度にして欲しい。

- C247 男 41才：就職するに厳しい状況ですが、短大で学んだことに興味が持てれば、どんな形でも良いからその方向に進んでいてもらいたいと思います。学生の個性・技術が生きるよう、学校側のバックアップ対応に期待しております。
- C248 男 25才：職に就くと、普通大学を卒業してきた人達とスタートラインは一緒になります。短大は就職に生かせるための知識を養う学校ですが、実情はその様に生かせる就職は数少なく、あまり短大を卒業した意味はないと思います。学習よりも研修を重点に置き、自分の求める職業の学習をした方が卒業してから役に立つと思います。一般大学との差別化を図った方が短大の意味は大きく変わると思います。学習内容は高校機械科とあまり変わりはありませんでした。仕事に就くための学校ならば、学習も教室よりも現場の空気を体験する方が大事だと思います。
- C249 女 24才：在学中にもっと資格を取っておけばなと思っています。資格試験等の情報提供をもっとして欲しかったです。
- C250 男 34才：現在の状況に応じた教育をどんどん取り入れてください。
- C251 男 24才：就職5年目、勉強したことが生かせない仕事をしており、転職を考えています。もう一度勉強し直したい、新しい事をしてみたいという気持ちがあり、この様な時、学校に戻れたり、通えるような夜間の授業があれば是非利用したい。
- C252 男 26才：2年間の学業では、色々な事を全て行うのは無理が少々あるような気がします。一度でも経験する事は良い事ではあるが、現場に出て1点か2点直ぐにも通用する技術を持った修了者を送り出せれば、職業訓練大学への周囲の反応も変わるかもしれません。
- C253 男 29才：もっと職業訓練をアピールするべきだと思います。
- C254 男 30才：ゼミ等でもっと人間の人格形成や協力作業の大切さについて学ばせるべきだと思います。
- C255 男 30才：技術の高い会社に就職したら、通用しない。
- C256 女 28才：ネットワーク、web 関連、HP 作成などの技術を身に付けたほうがこれからはいいと思う。課題のような短いプログラムを作るだけでは仕事には役に立たないので、在学中に大きなソフトを1回でも作った方がいい。大学卒でも力を持っている人は少ないので即戦力ということでは、この短大を出てよかったと思う。ただ、短大卒というか、専門校卒あつかいをうけて、給料の昇進には不利だと思う。実力を適切に判断できる企業に行かないと、ただ苦勞するだけです。
- C257 男 21才：2年制では期間が短すぎると思う。全短期大学校、大学校を3年間に統一し、全国で均一レベルの教育ができれば良いと思う。後輩達へ。やりがいのある仕事を見つけてください。

#### D： 近況報告（何とかやっています。）

- D1 女 29才：短大時代に、専門知識をもっと修得しておけばよかった。
- D2 女 43才：建設業界はきびしい倒産多大これから(40代)の再就職はむずかしい親の介護も身近に迫り、ホームヘルパー2級を取ろうと思っています。
- D3 男 27才：・就職活動はしっかりやるべきと反省しています。・将来に不安を感じている。・いい仕事ください。
- D4 女 30才：現在は、短大で学習したものは直接関係ない仕事についていますが、短大時代の専門学習は楽しく、今でもそのころの友人とたまに会ったりしています。一期生ということもあつたとおもいますが、就職するときにもう少し、多くの企業から選択できればよかったと思うことはあります。
- D5 女 33才：私は現在 SOHO という形で仕事を続けています、短大卒業後、就職と結婚後少ししてから家事と仕事の両立で体調を崩し社員という立場ではキツイと感じ、SOHO という形をとり、設計事務所等からの外注をしています。現在の会社状況を考えると仕事量もコンスタントではないので大変ですが、それでも女性の技術職者は帰宅時間が遅かったり休日出勤等を考えると今のような仕事の仕方があってもよいと思っています。要は本人の問題、考え方だと思います。短大という短い課程では時間が足りず4大からすれば足りない部分もあるとは思いますが、私自身が就職し、後輩たちが入社してきて指導したときに一番感じたのは、大卒でも短大卒でも専門卒でも入社した時点では皆0からのスタートで大差はないということです。本人のやる気次第で後の伸び方は変わります。短大では大学とは違う特色を持ち、それを会社側にアピールできれば良いのではないのでしょうか。後輩たちにも学校にも頑張ってもらいたいと思っています。
- D6 男 30才：私が短大生だったときはあまり勉強もせず、日々なんとなく過ごし、卒業後の就職先もなんとなく決めて社会にでました。当時はバブル景気の終わりごろで就職先もまだまだたくさんあつたと思います。ところが、なんとなく決めた会社で研修を受けているうちに景気は悪化し、出向させられ出向の期間延長にもなり、私にとって特にやりたい仕事でもなかったので退職しました。そのあとの就職活動はものすごく大変でもう就職できないのかなと思ったこと



- も多々ありました。現在はもっと景気も悪くて大変だと思いますが、しっかり目的意識をもって頑張っただけで欲しいと思います。
- D7 男 26才：今となって「学生時代にもっと勉強しておけば」と思うことが多分にある。大学にある多種多様の機械等にしても、訓練科にこだわらずに、他科の機械についても知っておいても損にならなかったと今になって思う。学生時代にこのくらいの好奇心がなぜなかったんだろう。今考えてももう遅いのかな？
- D8 女 29才：何かお手伝いできることがございましたらお気軽にご連絡ください。応援してます。頑張ってくださいね。
- D9 女 29才：私は、職業能力開発短期大学の同窓会の副会長をやっています。今後何らかの情報交換ができれば嬉しく思います。”<http://www2.4bn.ne.jp/~hachi/syokutan>”←良かったら覗いてみてください。資料をまとめたりするのは大変だと思いますが、頑張ってください。
- D10 女 23才：職業能力開発短期大学を卒業し、今は応用課程にいます。短大時は技能なども学びましたが、人数が少ないということもあり、みんなと1つになって学校行事などやって本当の仲間の意味が分かった気がします。今も休みごとに会うようにしています。応用課程ではもうすぐ卒業ということもあり開発課題の真っ最中です。ここでは、機械、電子、情報の3科合同ということもあり、とても大変さを痛感しているところです。卒業まで頑張っただけでやり遂げて自信をつけて社会人になりたいと思います。
- D11 男 35才：現在の学校のプログラムはどうなっているか知りませんが、パソコンをおぼえる（使えるようになる）には苦労しました。店舗設計、施工の仕事をしています。今や図面はすべてCADで行い、メールで、そのやりとりをする状況にあります。私はスクールに通い、1時間1万円の講習費で10時間習い、やっと使える様になりました。学生の頃、これを出る環境があれば良かったのに…とったりもしています。Uターンで地元に戻って来て、運良く、以前と同業種に就職出来たのですが、不況の為でしょうか、あまり状況は良くありません。
- D12 男 29才：現在の短大がどの様になっているかは分かりませんが、同窓会誌などでお世話になった諸先生方のメッセージが載っていると色々思い出すこともあります。今後ますます職業訓練校としての役割は大きくなると思われます。離職者・未分野への転職者に対する訓練を含めて、充実されていくことを望みます。追記：いつかまた遊びに行きたいと思います。
- D13 男 25才：自身の能力不足と、社会情勢の厳しさの中で十分に満足できる就業状況でないのが残念。短大時代の日々が今思えば、温室のように居心地の良い環境だったと懐かしく思う。自分の能力を磨き、現状から抜け出したいと悪戦苦闘しているのが今である。これからの日々も決して楽ではないように思う。生きてゆくと大変ですね。
- D14 女 21才：住居環境科を卒業し、事務兼CADで今の会社へ入社しましたが、今までCADをやらせてもらえず、不満に思っていたのですが、もうすぐ事務からの設計の方にかかわることになり、内心すごく嬉しかったのですが、初めて設計の方に女が入るということで、そのことをあまり良く思っていない設計の人たちがいます。やはり、設計業に女の人が入るのは厳しいのでしょうか。今では住居環境科などではなく、情報処理にでも入れればよかったと後悔しています。
- D15 男 25才：卒業してからもっと真剣に学ぶべきだったと感じてるときがある。わがままを言えば、もう少し長く在席したかった。そしてもっと色々なことを経験したかった。
- D16 男 31才：自分にとっては専門として行っていた研究と実際に就職した部門とは、全く違っていたので、短大で学んだことが十分生かせず、入社当時は大変苦労した。(専門知識が全くない) 現在も営業職であるため、現実には自分が考えているようなものには、なかなかありつけないと思う。そこで自分に必要なのが、上司への説得力ではないかと思う。
- D17 男 41才：私の場合、卒業後直ぐに親の営む、零細企業に就いた為、今日のようなアンケートに適していたかどうか分かりませんが、お許し下さい。又、地元にいる関係で、同窓会の役員等ももっていないながら余り、力になっていないのが現状で、大変申し訳なく思っております。
- D18 男 36才：私の頃は、設備が少なく、後から入ってきた人達にきくと、やってない、機械があり、俺もやりたかったというのが実感です。私の成績など、ビリですが、その後、周囲の奴より、努力という事をしたので、主任までなりました。ただ、今の若い人達は、行動より、口数が多く、わがままです。それにビビリ落ち着きのない部長、課長、係長がいて我々、中間層は、損な日々を送っています。もっと上下関係の部分を教えるべきです。仕事をしなくても昇り、仕事をしてもそのまま、わたしの会社はそんな所です。16年勤めて、主任で、自分の思い通りになるまで、会社に、こない奴が、一緒に、上にあがるとは、思いませんでした。信じていた人が全然信じられません。私の会社はそういう会社です。
- D19 女 30才：自分は子育て中なので思うだけかもしれないが、職場での仕事は社長にまでのぼりつめない限り、最終責任はないが、子育ては毎日の子供の接し方から兄弟間のトラブル、お友達とのトラブル、ひいては、その親や保育園、学校との折衝全てを自分の責任で管理し、解決しなくてはならず、いわれた仕事をして、その出来具合も上司が判断し

- ていた会社時代の方がよっぽど気楽だし、お金ももらえるし、よかった。子育てと会社と両方とる人もいるんだろうが、ただこなしてるだけになる人が多いように思う。結局人にあずけている間は子供みていないわけだし。
- D20 女 25 才：専門職に対しての賃金・雇用の仕方など会社側との意見のくいちがいが、見方のちがいが、まだまだあると思います。残業することや低賃金というのは、あたり前的な考えが多く本当に専門職でこれからずっとやっていくのか迷いが生まれるときが多々ありました。自分の能力との限界を感じる時もありました。専門職をつづけていくことは、本当はすごく大変なこと、今の世の中に社会に出て感じました。
- D21 男 40 才：卒業して20年近くなり、その間、何人かの後輩が入社してきて、会社でも先輩後輩の中になりましたが、何年も過ぎて何か変わったかなと思いました。私が在校していたときの校風は、会社の中で中間管理職として、上司の思いを部下に分り易く説明し、また、技術面の指導をし、能力向上をさせ、また、部下の思いを上司に分り易く伝え、両方をうまく取り持つことができる知識と技術の両方を持った人間の育成するのが校風だった様に思います。今私は、そう言った仕事をしていると自分なりに思っています。今、世の中は、知識を、また、専門技術を教育する大学は、専門学校も含み数多くあると思います。その中で、あの時の短大には、他にない色があったと思います。そして、その色は、今も昔も企業にとって大事なものだと思っています。以前、10周年の集まりの時、初代校長と話しをする中で、その色について語り合った事を思い出しました。中小の鉄工所の中には「技術のない人の話しは、まともに聞かない」と思っている職人がまだまだ多いのです。新しい知識をより深くする教育も大事かと思いますが、先に書いた昔の色も忘れぬ様これからも益々のご発展をお祈り致します。
- D22 男 36 才：その時代に沿った企業や顧客のニーズに対応できるための人間生と、技術が必要だと思います。新人面接等もやりますが、お見合いみたいなもので、一緒に働いていけるか、この人間をどのように生かせるかを真剣に考えて選びます。最低限の忍耐力も必要だと思います。そして夢も。
- D23 男 27 才：最初の退職で悔いる事があります。それは、若さのあまり先の事も考えず退職した事です。私が今まで生活してきて、『経験という宝』を持つ事がどれだけ大事で大変なのか身にしみて感じました。これからどういう人生を生きるか分かりませんが、先ず、自分の好きな職につくことを目標にし、頑張ります。ありがとうございました。
- D24 女 23 才：短大卒業後も就職活動をしてきましたが、持病を理由に就職することができず、結局、卒業して半年後に結婚し、今は家事と子育てに追われる毎日です。学んできた事を社会に出て生かす事ができずとても残念に思いますが、子育てが一段落ついたら再度チャレンジしていきたいと思っています。しかし、この就職難の時代の中で、私のように持病を持っている人にはとても不利不平等に思えてなりません。このような世の中での仕組みが一日も早く改善される事を願っています。
- D25 女 24 才：印刷会社のデザイン課へ就職しましたが、最初は苦労しました。Mac や Windows の授業が少なかったのが悔やまれますが、放課後等に Mac の学習室で勉強すれば良かったとも思います。専門の技術や認識は欠けていたところもありましたが、働いて自信も付きました。親に負担を掛けずに自然の中でのびのびと学ぶ事ができて良かったと思いますし、楽しかったです。
- D26 男 27 才：私は今、短大の時とは全く違う仕事に就いています。原子力科で色々な事について学びましたが、現在福祉の仕事に就いているので、短大時代に学んだ事を生かす事ができません。しかし、新聞等で原子力の事についての記事等があると、短大時代の勉強が少しは役に立っているなと思います。今学んでいる人達に、その専門分野が合わない等あった場合、未だやり直しがきくのだから、その分野を学んでからでも止めたりせず、頑張ってもらいたいと思います。
- D27 女 22 才：私は短大を卒業後、地元に戻って大学に進学しました。今も在学中です。そのためまだ仕事の経験が無いので、仕事に関する質問については回答せずに飛ばしています。出来る範囲内で回答したのですが・・・。
- D28 男 26 才：短大で学んだ事、経験する事はだだの通過点。
- D29 女 23 才：〇〇職業開発短大を卒業し、現在九州…に変わっているが自分の卒業した科がなくなるのは本当に淋しい。短大時代、多くの事を学んだお陰で今の生活が成り立っていると思っているし、短大が私の人生で最も学ぶ楽しさを教えてくれた時間だった。今でも、まだまだ学びたい事はたくさんある。いつか又、我が科が復帰し、その分野の認識がもっと深まってくれることを願う。
- D30 男 23 才：学生時代には自分のしたいことを思う存分するとよいと思う。学生と社会人とは全く違う環境なので…。学生の頃はよかったと思うことが多い。もちろん自分の満足のいく学生生活を送ることができたので大学には感謝している。いろいろな出会い（先生、友達 e t c）があったので…。今も大学の方には営業でおじゃまして先生方には大変お世話になっております。そういう意味でアンケートの方にぜひ協力したいと思いました。